探偵 DETECTIVE SABURŌ JINGŪJI 神宮寺三郎

未完のルポ

その時、神宮寺は

愛用の煙草（マルボロ）に火をつけた…。

●この本はPS（プレイステーション）版、SS（セガサターン）版共通です。

ゲーム必勝法スペシャル
探偵 神宮寺三郎～未完のルポ～

ケイブンシャ

好評発売中

セガサターン必勝法スペシャル
ダークセイバー
A5判／定価980円（税込み）

ゲーム必勝法スペシャル
ターフウィンド'96
公式ガイドブック
A5判／定価1200円（税込み）

好評発売中

プレイステーション必勝法スペシャル
サイキックフォース
A5判／定価980円（税込み）

プレイステーション必勝法スペシャル
オウバードフォース
A5判／定価980円（税込み）

株式会社　勁文社　発行　平成 8年12月20日　初版

ISBN4-7669-2641-2

C0076 P980E

9784766926415

●定価980円（本体951円）

©1996 Keibunsha Printed in Japan

1910076009809

●全ストーリー完全紹介
●ゲームシステム&キャラクター紹介
●原作・齊藤竜也氏スペシャルインタビュー
●シナリオチャート大公開

突然届いた一通のエアメイル。
横行する大麻の密売、
そして外国人連続殺人。
一見無関係な事件の背後に潜む巨大な悪とは…
ゲーム史上もっともクールな探偵、神宮寺三郎の魅力がこの一冊に結集。

©1996 DATA EAST CORP.

ゲーム必勝法スペシャル

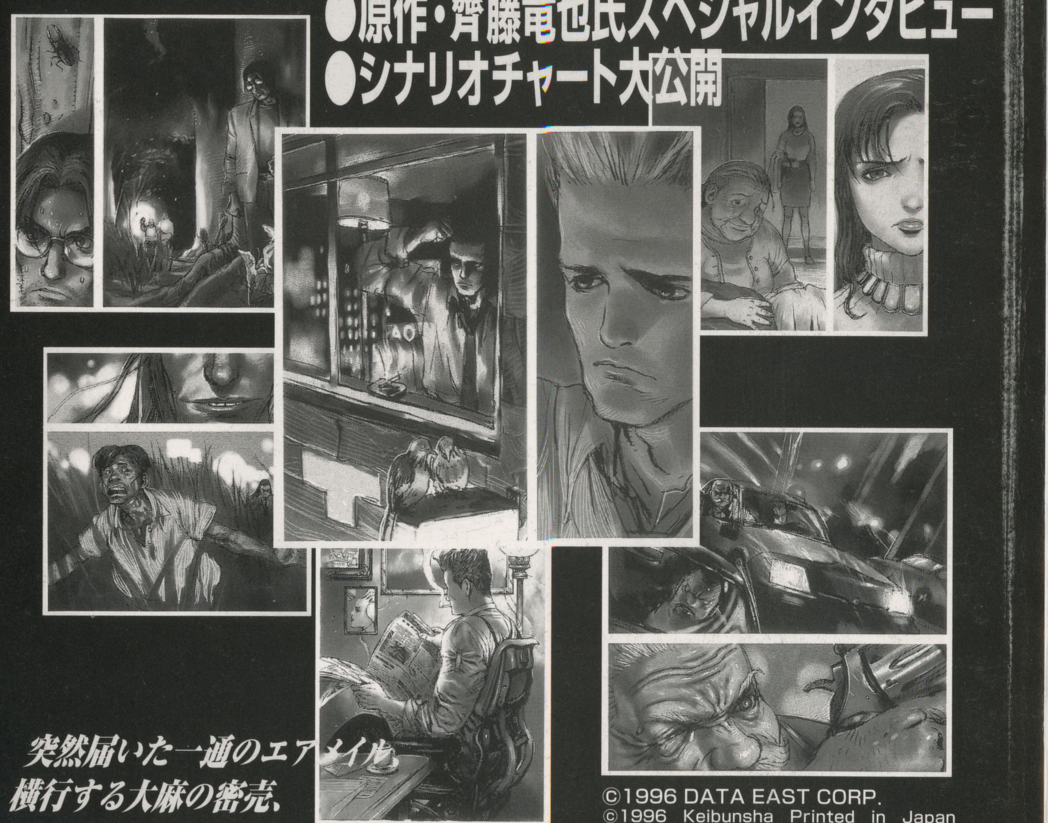
探偵 神宮寺三郎～未完のルポ～

ケイブンシャ

ゲーム必勝法スペシャル

探偵 神宮寺三郎 ～未完のルポ～

●全ストーリー完全紹介
●ゲームシステム&キャラクター紹介
●原作・齊藤竜也氏スペシャルインタビュー
●シナリオチャート大公開



突然届いた一通のエアメイル。
横行する大麻の密売、
そして外国人連続殺人。
一見無関係な事件の背後に潜む巨大な悪とは…
ゲーム史上もっともクールな探偵、神宮寺三郎の魅力がこの一冊に結集。

©1996 DATA EAST CORP.
©1996 Keibunsha Printed in Japan

ゲーム必勝法スペシャル
探偵 神宮寺三郎～未完のルポ～

ケイブンシャ

ゲーム必勝法スペシャル

探偵 DETECTIVE SABURŌ JINGŪJI 神宮寺三郎 未完のルポ

その時、神宮寺は
愛用の煙草（マルボロ）に火をつけた…。

●この本はPS（プレイステーション）版、SS（セガサターン）版共通です。

ゲーム必勝法スペシャル

探偵　神宮寺三郎

未完のルポ

CONTENTS

キャラクター紹介
4
システム紹介
7
グラス捜査
11
ムルソンにて……
27
外国人連続殺人事件
37
未完のルポ
51
シナリオチャート
82
謎の事件簿
85
スペシャルインタビュー
90
コラム
26・36・50・84

歓楽と欲望が渦巻く不夜城、新宿。
この混沌の街に居をかまえ、絶え間なく発生する事件に挑む男がいた。
名は神宮寺三郎、職業は私立探偵。
新宿に生きる人間で、
さまざまな難事件を解決してきた彼の名を知らない者はいない。

すべてを飲み込んで、街は膨脹し続ける。

そんな神宮寺の元に、一通のエアメイルが届いた。
差出人は飲み友だちの池上康明。それが、恐るべき事件のプロローグだった。
横行する大麻の売買、外国人連続殺人事件、
それぞれ無関係と思われていた事件が、
池上の「未完のルポ」をめぐり、奇妙な符合をみせる……。

登場人物紹介

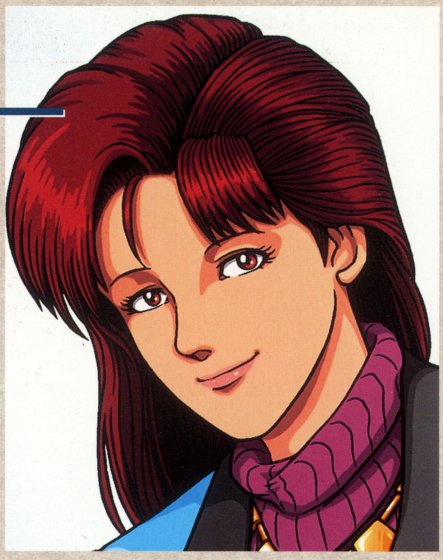
神宮寺三郎

年齢●29歳　血液型●AB型
誕生日●2月6日　水瓶座
身長●179cm　体重●70kg
好きな物●煙草：マルボロ　酒：カミュ
コーヒー：カプチーノ　車：ミニ
使い慣れた革の手帳
性格●シャープな推理力と冷静な判断力、そして用心深くも大胆な行動力の持ち主で、いくつもの難事件を解決してきた名探偵。常に依頼人の希望に沿うよう仕事をこなし、現在も記録更新中である。警察からの信頼も厚く、探偵という立場を活かして捜査に協力することも多い。
　クールな大人の男だが反面、人情家でもあり、弱者に対して深いいたわりの心を持っている。

プロフィール●国際企業グループ「神宮寺コンツェルン」のトップ、神宮寺春彦の三男として生まれる。ふたりの兄は父の後継者として、傘下企業の最高責任者を務めている。三郎だけが父の跡を継ぐことを拒み、大学卒業後渡米する。三郎は、父から独立することを望んだのだ。
　アメリカではある事件に巻き込まれるが、持ち前の推理力と洞察力でこれを解決、探偵としての才能を示す。しかしこの事件で、犯人だった日本人青年が死んでしまう。その青年こそ、当時20歳だった御苑洋子の恋人だったのだ……。苦い思い出になってしまったが、この事件が神宮寺の将来を決めた。これをきっかけに神宮寺はアメリカで探偵の助手として働き、ノウハウを学んでいくことになるのだ。
　帰国してからは、アメリカで学んだ探偵術を活かし、新宿歌舞伎町で小さな事務所を開く。以来、さまざまな難事件を解決し、名探偵としての実績を確かなものにしていった。そして偶然にも、ある事件で御苑洋子と再会を果たす。恋人を失った洋子は神宮寺を憎んでいたが、その人間性に触れ、心を開いていく。そしてアメリカでの事件のとき、神宮寺がとった行動の真意を理解するのだ。かくして洋子は、助手として神宮寺探偵事務所で働くことになる。また、それからいくつかの事件を通して、淀橋署の熊野参造警部や、関東明治組組長の風林豪造、創文社の記者池上康明と知りあう。その人脈は裏の世界にまでおよぶため、調査に役立つことも多い。

　三郎の祖父、神宮寺京助は大正時代に活躍した、日本最初の職業探偵だった。おじいちゃん子だった三郎は、そんな祖父の影響を大いに受けた。三郎が探偵の道を選んだのは、血筋なのかもしれない。まさに生まれながらの「探偵」なのだ。

御苑洋子



年齢●24歳　血液型●A型
誕生日●8月1日　獅子座
身長●167cm　体重●不明
好きな物●化粧品は『イプサ』を愛用。神宮寺がコーヒー党なので事務所ではよく飲むが、実は紅茶党。茶葉は『フォートナム&メイスン』のものが好き。ビールはシャンディガフが好みだ。バッグなどの小物は、ブランド品ではない。アメリカ留学中に知りあった、革職人のおじさんが作ってくれた一点モノだ。
性格●抜群の直感力の持ち主で、神宮寺とは違う視点から、思わぬヒントを投げかけることも少なくない。女性らしい優しさと気づかいで、悩める依頼人の緊張をやわらげてくれる。
プロフィール●英語、フランス語、スペイン語を使いこなす才女。
　大学在学中アメリカに留学し、そこで神宮寺と知りあう。当時20歳だった洋子は、ある事件で恋人を亡くし、神宮寺を憎んでいた。しかし帰国後、彼の人間性を知り誤解を解く。以来、神宮寺の有能なアシスタントとして活躍する。神宮寺とは、お互いに厚い信頼関係で結ばれている。

熊野参造

年齢●55歳　血液型●O型
誕生日●11月25日　射手座
身長●170cm　体重●87kg
好きな物●食べ物：ビフテキ（ビーフステーキではない！）
立ち食いそば（若いころからの習慣。調査中はいつもこれ！）
酒：電気ブラン（新橋辺りにコッソリ出かけることもあるらしい）
場所：神宮寺探偵事務所（居心地がいいらしい）
性格●正義感が強く、明るい性格。いつも冗談をとばしていて、たまに意味不明の叫び声をあげる。人情家で、犯人逮捕のときはついシンミリしてしまうことも。
プロフィール●新宿を管轄に持つ、淀橋署の警部。捜査畑30年の大ベテランで職人気質だが、最近はデスクワークが多くなったとボヤいている。神宮寺とはある事件をキッカケに知りあい、捜査を依頼することも多い。熊野も警察の情報をリークしたりと、協力を惜しまない。
　神宮寺とはよく飲みに行く仲で、その能力、人格ともに全幅の信頼をよせている。

与野恭介

年齢●26歳
身長●177cm　体重●66kg
性格●好奇心旺盛で正義感が強く、不正を見過ごすことができない性格。人のために汗を流すことをいとわない、誠実さも持ちあわせている。熱くなって、つい冷静さを失ってしまうことも。好きな言葉は「ペンは剣よりも強し」。
プロフィール●大手出版社に入社後、先輩の池上からライターとしてのノウハウを学ぶ。退社後、フリーライターとして独立する。妻の雪枝、息子の守と都内のアパートで暮らしている。取材が忙しく、息子と遊んでやれないのが悩み。ODA取材でムルソンを訪れ、池上と再会。それがキッカケで、恐るべき事件に巻き込まれる。

風林豪造

年齢●68歳
新宿歌舞伎町一帯をとりしきるヤクザ、関東明治組の親分。昔ながらの義理人情に厚く、仁義をわきまえた男だ。神宮寺とは古いつきあいだが、調査の上ではよほどのことがない限り協力はしてくれない。それが、ヤクザとカタギのつきあい方なのだ。

池上康明

年齢●37歳
新宿にある創文社の記者で、与野の元上司。与野にとっては、まさに兄にも等しい存在だった。新宿中央公園に屋台を出すおでん屋の常連で、神宮寺とは飲み友だち。ムルソンでの取材中、何者かによって殺害される。通称ガミさん。

システム紹介

スムーズにゲームを進めるだけでなく、『未完のルポ』を遊びつくすためにも、ゲームシステムはしっかり覚えておこう！

コントローラー

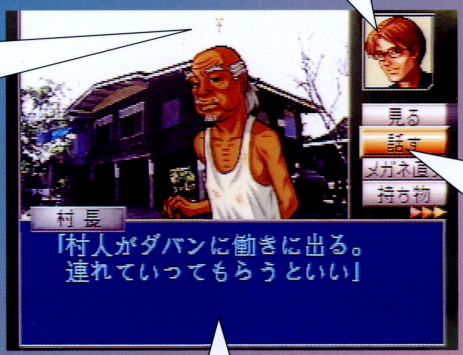
コントローラーの操作は、オーソドックスで誰にでも楽しめるコマンド選択方式。すぐに操作できるようになるぞ！

メインウインドウ

ゲーム中いちばん目にすることの多いメインウインドウ。よく見ることが、捜査の第一歩だ。

フェイスウインドウ
今、捜査を行っている人物（プレイヤー）の顔が表示

サブコマンド
コマンドで「話す」「聞く」などを選択すると出現する▽マーク。回転しているものを選ぶと、その人物や物を選択できる。この画面で方向キーを押すと、回転▽マークが移動する。



メイン コマンド
コマンド下に▷▷▷が表示されたときは、方向ボタンでコマンドを入れかえることができる

メッセージウインドウ
文章の表示

メインコマンド紹介

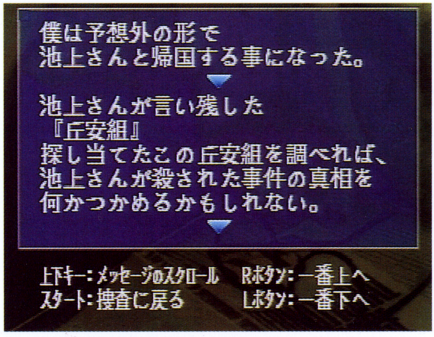
キャラクターの行動を決定するのがメインコマンド。その場や相手に応じたコマンドを選択しよう。

移　動	場所を移動するためのコマンド。ストーリーの展開に応じて、行ける場所はある程度限られてくる。
持ち物	プレイヤーが持っているアイテムや証拠品を確認したり使用したりするコマンド。使用することで、思わぬ情報が得られることもある。
見　る	捜査のあらゆる場面で必要になるコマンド。相手や物を観察するときに使う。よく見れば、重要な証拠物件を発見できることもある。
聞　く	相手の証言や周囲に流れている音を聞くコマンド。情報を収集し、推理の材料にするのは捜査の基本だ。
取　る	発見した証拠品やアイテム、遺留品を入手するためのコマンド。必要に応じて出現するので、メインコマンドをよく見ること。
話　す	人と話をし、情報を得るためのコマンド。聞き込みは、捜査にはなくてはならないもの。キャラクターの話術が捜査状況を左右することも多い。

MEMOシステム

『未完のルポ』は、なかなかボリュームのあるゲーム。MEMOシステムを活用して、状況を整理しよう。

これまでの捜査状況を、古い順に表示する便利なシステムだ。最新の状況が、いちばん下に表示される。状況によっては、アイテム選択することで、必要なことをメモすることもできる。行き詰まったら、今までの捜査過程をおさらいすると、道が開けるかもしれない。コマンド「持ち物」のなかにある「手帳」や「取材メモ」を選択すると、メモ画面に入る（手帳などは、キャラクター全員が最初から所持している）。



セガサターン、プレイステーション共通

上下キー／メッセージのスクロール　R1・2ボタン／一番上へ
スタート／捜査へ戻る　L1・2ボタン／一番下へ

尾行聞き込みシステム

捜査には尾行、聞き込みがつきもの。容疑者追跡のカーチェイスなど、ドキドキの画面も用意されている！

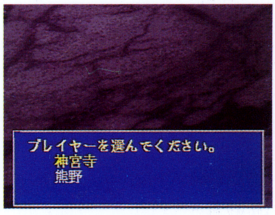
キャラクターをナナメから見下ろす形で操作する画面。尾行、聞き込みでは、シルエットの人物と会話できる。カーチェイス場面は、犯人の逃走を阻止する画面だ。

方向ボタン上……前進
　　下……振り返り
　　左右……横移動
A、○ボタン……会話、調べる

ザッピングシステム

キャラクターをチェンジすることで、2回、3回とシナリオを楽しめるシステム。裏の物語を知ると思い入れもひとしお！

ストーリーの要所でキャラクターをチェンジできるシステム。神宮寺だけのストーリーではなく、洋子や熊野、与野のストーリーも楽しめる。キャラクターを変えることで、裏では、どんな事件があったかを神宮寺と同時進行で体験することができる。キャラクター選択画面では、セーブすることも可能。ゲーム中の時間は同時進行で進んでいるので、前に戻って別のキャラクターでやり直すことができない。セーブしておけば、もう一度キャラクターを選べて便利だ。



サブゲーム

ゲーム中には、ブラックジャックやダーツで遊べる場所がある。ルールは簡単なので、息抜きに遊んでみよう！

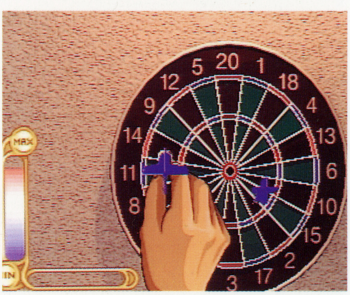
●ブラックジャック

①配られるカードは２枚。１枚は表、もう１枚は裏になっている。
②方向ボタン上下で、賭けるチップの枚数を決める。チップの上限は５枚。次にAボタン、または○ボタンを押すと、裏になっているカードをめくることができる。
③ルールは、カードの合計数がより21に近い方が勝ち。もし３枚目のカードが必要なら、HIT、必要ないならSTANDを選んで勝負に出る。
④A（エース）のカードは１、または11として数えることができる。
⑤絵札は10としてカウントする。
⑥カードの合計が22になると負け。
⑦同点の場合は親の勝ちになる。
⑧スペードのAとJの組み合わせは最強で、しかも５倍取りだ。

●ダーツ

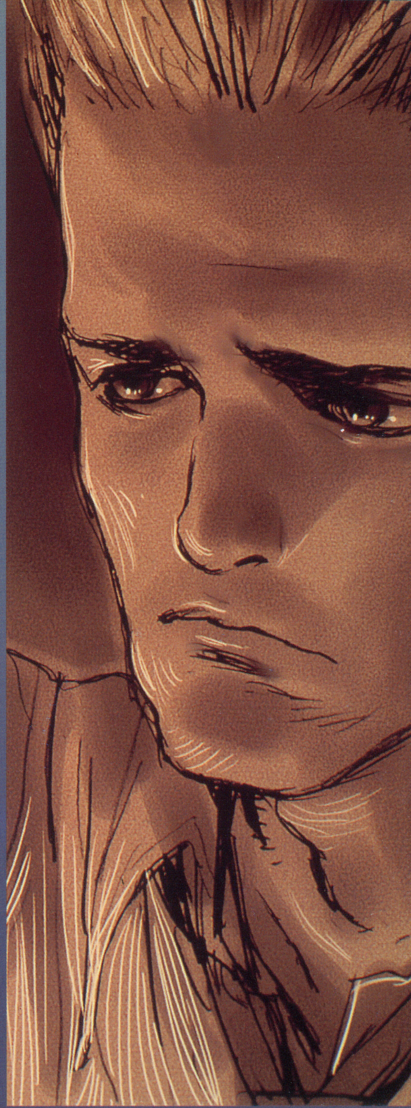
神宮寺の私室では、ダーツで遊ぶことができる。神宮寺も息抜きによく遊ぶようだ。ルールは的に表示されている、得点がより高いところに矢を当てること。

タテのゲージで投げる力を決定し、ヨコのゲージでダーツを飛ばす方向を決める。しかし、ヨコゲージを決定するボタンを押しそこねると、ダーツは自動的に右の方向へ飛んでいってしまう。



捜査の心得３カ条

●人と会話したり、物を観察するときには、何度でも納得がいくまでコマンドを試そう。一度で真実がつかめるとは限らないからだ。
●プレイヤーキャラクターたちにはそれぞれ、「煙草を吸う」「髪をかきあげる」など、ついつい出てしまうクセや習慣がある。考えをまとめたいときや捜査に行き詰まったときに出せば、道が開けるかもしれない。
●もし、なにか変わったものを見つけたら、淀橋署の鑑識課を訪ねてみよう。それが何であるかを特定してくれる。



グラス捜査

新宿歌舞伎町で横行しているグラス（大麻）密売。警察は売人を捕らえようとやっきになっているが、手口が巧妙でシッポをつかむことができない。そこで神宮寺が客に変装し、オトリ捜査に乗り出すことになった。悪魔の薬を売りさばく売人を、神宮寺はどう追いつめる!?

プレイヤー
SABURO JINGUJI

神宮寺三郎

ここ最近、ヒマをもてあましていた私立探偵、神宮寺三郎。そんな神宮寺の事務所に、一通のエアメイルが届いた。

事件の臭い

行きつけのバーで居眠り

神宮寺三郎の事務所には、ここしばらく依頼がなかった。それだけ世の中が平和な証拠なのだろうが、私立探偵を生業とする彼にとっては商売あがったりだ。依頼がないときは、とことんヒマ。それが、私立探偵という職業だ。

危険ととなり合わせの日常から解放され、気がゆるんだのだろうか。神宮寺は、行きつけのバーで朝をむかえてしまった。このバーは、かすみとその妹まなみが経営している。親が残した店をけなげにも守っているのだ。神宮寺は、この店の落ちついたムードがお気に入りだ。

店内をひと通り観察したら、店を出て事務所へ戻ろう。

かすみの魅力にひかれて、このバーに足を運ぶ常連客も多い。神宮寺に、ただの客以上の感情を抱いている……？

ここでは、サブゲームのブラックジャックとダーツで遊ぶことができる

ホームグラウンド新宿を歩く

新宿は、神宮寺のホームグラウンドだ。新宿に生きる人間で、その名前を知らぬ者はいない。

喧噪に満ちたこの街は、常に事件がおきる危険性をはらんでいる。それでこそ探偵も暮らしていけるのだし、何より神宮寺は、この街に愛着を持っている。特に歌舞伎町付近で、何万と行きかう人々をながめながら、物思いにふけることが好きなようだ。

昼と夜、ふたつの顔を持つ歌舞伎町。昼はショッピングを楽しむ人で混みあうが、夜は犯罪の街となる

捜査の拠点・神宮寺事務所

歌舞伎町からほど近い場所に「神宮寺探偵事務所」はある。神宮寺の仕事場兼住居だ。粗末なビルの2階で、アシスタントの御苑洋子は引っ越したがっている。しかし依頼がないのでは、それもままならない。新宿にやって来る人は多いが、住んでいる人はあまりいないだろう。　窓から人影は見えない。洋子は、まだ来ていないようだ。

推理したり検討したりと、何かと出入りの多くなる事務所。2階の窓がここから見える

灰皿をよ〜く見るとこんなモノが……

事務所内には、いろいろな物が置いてある。書類の整理は、数年前からパソコンを使って整理している。神宮寺は書類作成が苦手なので、もっぱら洋子の仕事だ。また、神宮寺は大のコーヒー党なので、コーヒーメーカーは毎日大活躍。

そして、吸いがらが山盛りの灰皿をよく見てみると、プルリングが見つかる。

意外と几帳面な神宮寺。缶ジュースについていた古いタイプのプルリングだが、持っているとイイことがあるかも

池上からの手紙

事務所には今日も依頼はないが、手紙は何通か届いていた。ダイレクトメールや通信販売の案内などに混じって、一通のエアメイルが届いていた。重さは500円玉程度で、封筒には差出人の名前はなく、表には見慣れない絵柄の切手がビッシリと貼られていた。いぶかしく思いながら封を開けてみると、中にはどこかのコインロッカーのカギと、走り書きのメモが入っていた。「しばらくの間、預かってくれ　池上」という内容のメモだった。

池上、通称ガミさんは、中央公園に屋台を出しているおでん屋の常連で、神宮寺の飲み友だちだ。神宮寺は、胸騒ぎをおぼえながら、封書をしまった。

エアメイルをもらうアテなどない神宮寺。裏に差出人の住所、氏名は書いていない。どこの国の誰からのものなのか

池上の頼みなら断れないし、そのうち取りにくるかもしれない。しかし、神宮寺の心には何かひっかかるものがあった

熊野の依頼

熊野からの電話

コーヒーを買いに行くという洋子に、ゆっくりしておいで、と声をかける神宮寺。今日も依頼はないかもしれない。

そんな時、新宿淀橋署の熊野警部から呼び出しの電話があった。頼みたいことがあるので、ヒマならすぐ来いという。熊野参造、通称熊さん。勤務歴30年のベテランで、神宮寺もずいぶん世話になっている。淀橋署……警察という公的機関が動けない種類の捜査は、神宮寺に依頼されることが多い。何はともあれ、神宮寺は熊野が待つ淀橋署へと向かった。

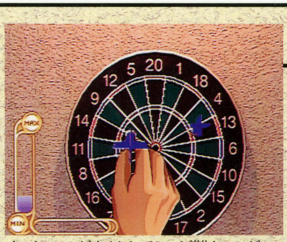
しばらく事務所内を観察したり、私室にこもっていたりすると電話が鳴る。「取る」というコマンドが出現する

非公式の依頼

淀橋署は、相変わらず戦場のような忙しさだ。犯罪の低年齢化、外国人犯罪など、事件は増える一方で、淀橋署もなかなか手が回らなくなっているらしい。

熊野からの依頼は、新宿付近で大麻をさばいている売人のアジトをつきとめることだ。日本では、オトリ捜査は合法化されていない。そこで神宮寺が、善意の市民の通報という形で捜査することになった。麻薬は葉っぱなので、グラスと呼ばれている。神宮寺は、さっそくグラス捜査にかかることにした。

熊野が警察に入ったころは、新宿もこんなに危険な街ではなかったらしい



タイミングをはかるのが難しいダーツゲーム。300点満点目指してがんばれ！

神宮寺のプライベートルーム

事務所から、神宮寺のプライベートルームに入ることができ、サブゲームのダーツで遊ぶこともできる。神宮寺はよく、気晴らしにやることが多い。あんまり遊んでばかりいると、洋子にどやされることもあるようだ。

机は黒檀で、ボロいビルの一室には不釣り合いなほど立派なものだ。ここに座って推理すると、考えをまとめやすい。

淀橋署内はいつも大忙し!

淀橋署内の鑑識課では、三好志保が働いている。なかなかの美人なのだが、神宮寺の手にもあまる変人だ。鑑識は犯人が残した証拠品などを分析する部署だ。科学的な知識が必要になったら、三好にたずねるのもいいかもしれない。

受付は特に忙しい。事件に巻き込まれた人が、まず最初に通るのがここ。新宿には何万という人間が集まるのだから、発生する事件の数もハンパではないのだ。

受付には、今日もたくさんの事件が持ち込まれている。落とし物なども、ここで受け付けてくれるようだ

鑑識の三好女史。小脇に抱えているのは熊さん人形だ。なぜかいつも持ち歩いている

ふたりの依頼人

いったん事務所に戻ってみると、洋子が依頼人を連れてきた。名は坂井秀子、出稼ぎに出たまま行方不明の夫を探してほしいという。神宮寺は熊野から頼まれたグラス捜査で手がいっぱいだ。ここは洋子にまかせるしかないだろう。

はりきって調査に出かけた洋子を見送ってすぐ、新たな依頼人、中井憲治が訪れた。大切な書類が入ったアタッシェケースを探してほしいという依頼だ。中井の頼みは、熊野が引き受けることになった。

神宮寺の色男ぶりに、すっかり緊張してしまう坂井秀子。純朴で気のいい女性だ

捜査を神宮寺にまかせヒマな熊野は、日頃の借りを返そうと中井の依頼を受ける

あいさつが「鑑識します?」という人も珍しい……

三好志保の秘かなシュミ

三好志保は、淀橋署の鑑識課で働く女性職員だ。大学を出た後、製薬会社の研究員として活躍していたが退職、現在にいたるという変わった経歴の持ち主だ。物を鑑識するのが好きなため、警視庁に入ったのかもしれない。

そんな彼女の密かな趣味は、今ではあまり見られなくなったプルリング集め。あげると、何かイイことを教えてもらえるかも!?

プレイヤー
YOKO MISONO

御苑洋子

行方不明の夫を探す坂井秀子。無邪気で人間味あふれる彼女の人柄が気に入った洋子は、何とか力になりたいと思うが……。

ひとり目の依頼人

坂井秀子との出会い

神宮寺のお気に入りの店へコーヒーを買いに出かけた洋子は、少し新宿の街をブラブラすることにした。

新宿駅は、相変わらずすごい人混みだ。早足で歩いていく人々は、まわりのことなど見えていないのだろう。物思いにふける洋子の後ろから、なまりのある女性の声が聞こえた。この辺りで、お弁当を食べられる場所を探しているらしい。洋子は、彼女を都庁広場に連れていくことにした。

坂井秀子と名乗った40代後半のその女性は、洋子にオニギリをすすめながら、上京の目的を語った。何でも、東京に出稼ぎに来て行方不明になってしまった夫を探しているという。

田舎の人らしい温もりを感じさせる坂井秀子。洋子は彼女のことが気に入り、夫探しを格安で引き受ける

坂井公一は今、どこに……？

坂井秀子の家は農家だったが、産業廃棄物処理場建設のため土地を売らざるをえなかった。田畑を失った夫、公一は東京に出稼ぎに行くことになった。連絡がとれなくなったのは、今年の3月半ば。また、8月のお盆の頃に、新宿地下道のホームレスのなかに、坂井そっくりの男が目撃されている。年齢は53歳、身長167センチの中肉中背だ。家庭にも特に問題はなく、夫が失踪した後も、何とか暮らしは成り立っていた。

洋子は秀子をはげますと、さっそく調査のために、坂井公一の写真を借り受けた。

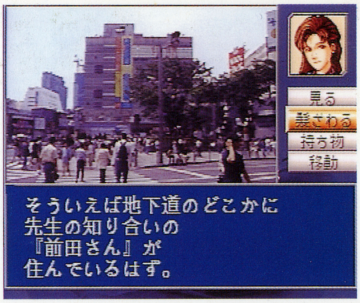
お手並み拝見といった感じで、神宮寺は調査を洋子にまかせた。神宮寺も坂井に好感を持ったようだ

さしあたり、坂井公一が最後に目撃されたという新宿の地下道のあたりに行くつもりだ。

手がかりを求めて新宿地下道へ

東京に出稼ぎに来た人が何かの間違いで、新宿地下道の住人になってしまうことも、ありえない話ではない。

洋子は与えられた手がかりをもとに、新宿の街を歩いてみることにした。そういえば地下道には、神宮寺の知り合いの前田という男がいるはずだ。地下道のリーダー的存在だという前田なら、何かを知ってるかもしれない。

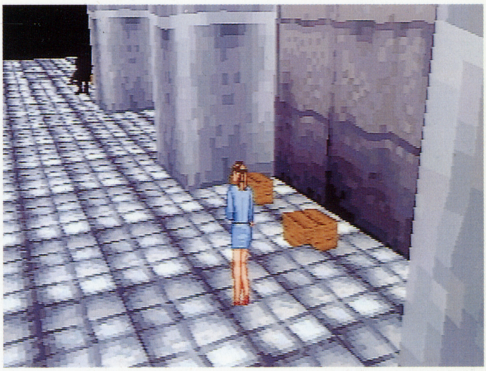


新宿とひと口にいっても、人を探すとなるとなかなか大きな街だ。手がかりを思い出そう

地下道のリーダー、前田を探そう

前田を探しに、洋子は新宿地下道にやってきた。しかし、前田の居所を聞いても、警戒心の強いホームレスは教えてはくれない。聞いてまわるうち、ひとりのホームレスが黒田のじいさんなら知っているだろうと教えてくれた。黒田は地下道の中で、一番早寝だという。この時間は、もう眠っているに違いない。しばらく歩くと、地べたに寝転んで眠っている老人を見つけた。彼が、「黒田のじいさん」に違いない。洋子は睡眠の邪魔をしたことを詫び、前田の所在をたずねた。黒田の話では、出入り口の辺りにいるらしい。

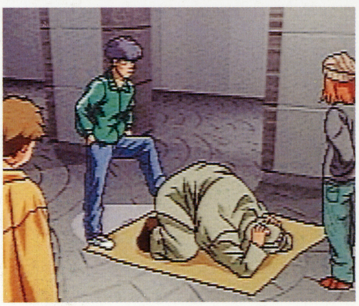
尾行・調査画面に入る。前田を探すのはひと苦労だ



前田を探して新宿地下道に足を踏み入れた洋子。女性の身では、ちょっと危険かも

少年たちの暴行を止めろ!

出入り口付近を探してみたが、前田は見当たらない。途方にくれる洋子の目に、ショッキングな光景が飛び込んできた。数人の少年がホームレス、しかも老人をメッタ打ちにしているのだ！　止めなくては、と思うのだが女の細腕ではどうにもならない。様子を見にきた神宮寺のおかげで、少年たちを追い払うことはできたが、今日は前田に会うことはできなさそうだ。



助けだされた老人は、仲間がどこかへ連れていった。大したケガでなければよいのだが……

衝撃の事実

翌日も、洋子の前田探しは続いた。しばらく歩き回っていると、昨日の老人が現れ、出入り口の方を指さして去って行った。出入り口に前田がいるということだ。老人の体には白い包帯が巻かれていて、洋子は少しホッとした。

出入り口には、２メートル近くある立派な体格の男が、洋子を待っていた。彼が地下道のリーダー、前田明宏だ。食料調達から病人の世話まで、ありとあらゆることの面倒をみる。

洋子は坂井公一の写真を見せ、心当たりをたずねた。前田は坂井のことを知っていたが、坂井公一はすでにこの世の人ではなかった……。

前田の話では、７月ごろあいさつに来て、９月なかばに亡くなったという。仲間たちと一緒にゴミ漁りをしていて、突然血を吐いたのだそうだ。死因は喉頭がん。ソーシャルワーカーに頼んで病院に運んだが、手遅れだった。病はすでに、坂井の全身を蝕んでいたのだ。洋子は、前田から紙袋を受け取った。坂井公一の、たったひとつの形見だ。

遺体は変死扱いで検死解剖にまわされたそうだ。詳しいことは警察に聞くしかないだろう。洋子は、この残酷な事実を坂井秀子に伝えなければならないのかと思うと、やりきれない気持ちでいっぱいだった。

調査は、最悪の結末をむかえてしまったようだ。

少年たちから暴行を受けた老人。ちゃんと手当してもらえたようだ。大事にはいたらず、洋子もひと安心

何かと謎が多い男、前田明宏。もとは一流企業に勤めるエリートだったらしい。そのウワサは神宮寺もあながちウソではないと思っている

悲しい対面

紙袋の中には、意外にも高価な香水が入っていた。田舎で待つ妻、秀子のために買ったものだ。いつか故郷へ帰る日を夢見て、後生大事に持っていたのだろう。検死のときに撮影した写真のなかの坂井公一はやせ細り、年齢よりもずっと老けて見えた。

変わり果てた姿の夫を前に、坂井秀子は泣きくずれた。その後ろ姿を、洋子は胸が締めつけられる思いで見つめた。こうして、洋子の調査は終わりを告げたのだった。

見知らぬ街で死んでいった夫を思い、涙する坂井秀子。洋子に感謝する姿も悲しい

プレイヤー
SANZO KUMANO

熊野参造

重要書類を紛失してしまい、藁をもつかむ思いで助けを求めてきた中井。忙しい神宮寺に代わり、熊さん大ハッスル!?

ふたつ目の依頼はモノ探し

神宮寺の依頼人を横取り!?

グラス捜査にかかりっきりの神宮寺に代わって、熊野が中井憲治の依頼を受けることになった。大切な書類が入ったアタッシェケースをなくしてしまったらしい。大きなプロジェクトを成功させ、打ち上げで飲み屋をハシゴした後、中央公園のベンチで眠りこんでしまったという。最後に飲んだキャバレー「K」までの記憶はハッキリしている。あるとすれば「K」か中央公園だ。

神宮寺が止めるのも聞かず、依頼を受けた熊野。中井が探しているのは、黒いアタッシェケースだ

キャバレー「K」での情報

「K」は新宿でもあまりトラブルをおこさない優良店だ。熊野はこういった世界の知り合いはあまりいない。しかし、この店のマスターとは古いつきあいだ。何か有力な情報が聞けるかもしれない。

熊野はマスターに中井の写真を見せてみた。マスターは、そのときはアタッシェケースは持っていたようだ、と教えてくれた。可能性は、中央公園にしぼられた。

店長は、かなりはしゃいでいた中井のことを覚えていた。この日の忘れ物にも、黒いアタッシェケースはない

店先で熱心に掃除をする、東南アジア系の青年。マジメな働きぶりに熊野も感心

中央公園はゴミだらけ!!

残る可能性は、中井が眠ってしまった中央公園だ。熊野はすっかりゲンナリしてしまった。公園は、入り口を中心に北、南、東の3方向に広がっている。街全体から見ればわずかな面積だが、物を探すとなるとなかなか広い公園だ。しかたなく、公園全体をシラミつぶしに探してみることにしたのだった。

中央公園はゴミだらけで、おせじにもキレイとは言えなかった。クズかごを漁ったり、芝生や茂みのなかを探したりするが、探し物は見当たらない。挙動不審な熊野を、アベックがいぶかしげに見ている。一度出直したほうがいいかもしれない。

中央公園の南側。さすがの熊野も疲労の色が濃くなってきた。まわりの目も気になってきたし、ここは出直した方がいいかも

中央公園の出入り口付近。神宮寺に似てきたのか、ついシリアスなセリフが出てしまう。神宮寺も熊野のように陽気になれば、人生がもっと楽しくなる……!?

中央公園の北側。広い公園を前に、ウンザリ気味の熊野。どこを探しても、ロクな物は出てこない。クズかごを漁りながら、何だかムナしくなってしまうのだった

中央公園の東側。のどかな散歩道が続いている。奇声を発してみても、やはりない……。思いあまって木の上まで探してみるが、やはりあるはずない……

アタッシェケース発見!!

あきらめきれない熊野は、もう一度中央公園内をくまなく探してみた。すると北側のクズかごのなかに、例のアタッシェケースが捨てられているではないか！　無造作に放りこまれていて、つい先ほど捨てられたような様子だ。努力が実を結び、中井の期待に応えられることを、熊野は心底うれしく思った。

熊野は、念のため中身を確認しようとしたが、留め具にはカギがかかっていた。重要書類を運ぶうえでの細心の注意なのだろうが、ケースごと置き忘れてしまっては元も子もない。

中井の喜ぶ顔が目に浮かび、今までの疲れがイッキに吹き飛んでしまった。早く届けて中井を安心させてやろう、と熊野は足どりも軽く神宮寺事務所へと向かった。

中央公園の北側で発見！　しかし、ふつうこんな大きな物が落ちていたら、捨てずに警察に届けるものだが

中井の喜ぶ顔が見られると思ったら……!?

意気揚々と神宮寺事務所へ凱旋する熊野。ところが、熊野が持ち帰ったアタッシェケースは、中井の物ではなかった！　中井のアタッシェケースは、もっと小ぶりな物らしい。

引き受けた以上は、何が何でも見つけださなくては気がすまない熊野。洋子の後押しもあり、熊野はもう一度、アタッシェケース探しにかかることにした。

中井にぬか喜びさせてしまった申し訳なさと、傷ついたプライドを取り戻すため、熊野は再度チャレンジする

署内で前田が大暴れ!?

もしかしたら、誰かが拾って警察に届けたのかもしれない。熊野はわずかな望みを託して、淀橋署に向かった。ところが、熊野の期待はアッサリと裏切られた。アタッシェケースの拾得物届けはなかった。途方に暮れる熊野の前に、前田が連行されてきた。デモ行進で捕まったらしいが、熊野のとりなしで釈放された。

熊野は前田に一昨日、寝ぐらにするベンチを奪われた仲間はいなかったか、とたずねた。どうやら、サラリーマンに寝床を横取りされた男がいるらしい。その男なら、何か知っているかもしれない……！

人権問題を理路整然と語る前田。エリートだったというウワサも本当かもしれない

淀橋署にも届けはなかった。さっき拾ったアタッシェケースは、ついでだから届けておこう

何かをやりとげた後って気持ちイイ!

熊野と前田はさっそく、その男に話を聞いた。男は警戒していたが、前田のおかげで話はスムーズに進んだ。地下道出入り口に、ホームレスの持ち物を集めた場所があるという。探し物は、そのなかに混じっているそうだ！　通行人にはガラクタにしか見えないであろうその山を、熊野は必死の思いで漁った。そして、ついに目的の物を探し当てたのだ！

今度のアタッシェケースは確かに本物。中井は満面の笑顔で、会社に飛んでいった。熊野のお手柄だ

プレイヤー
SABURO JINGUJI

神宮寺三郎

熊野から依頼されたグラス捜査に、本格的に乗り出した神宮寺。果たして、売人のアジトをつきとめることができるのか!?

売人のシッポをつかむ!

キマ劇場付近がアヤしい!

洋子、熊野がそれぞれの調査に出ている間、神宮寺は張り込みを開始していた。熊野から依頼されたグラス（大麻）捜査だ。今回の任務は、新宿で大麻の密売をしている売人を見つけ、そのアジトをおさえることだ。大麻は善良な市民が思っているよりも、ずっと簡単に、しかも安い値段で手に入るものなのだ。特に、この新宿という街では。

新宿歌舞伎町でもひときわにぎやかなキマ劇場前。この辺りもずいぶん外国人が多くなった

神宮寺は、キマ劇場に行ってみることにした。この辺もよく見ると、外国人が多い。劇場の裏手にまわってみる。ここは、表通りよりもずっといかがわしい雰囲気だ。しばらく行くと、客引きの男が声をかけてきた。任侠ヤクザ、関東明治組の若い衆だ。この辺りも、明治組のシマになる。明治組は飲み屋やキャバレーの客引きとして働きながら、店でのモメごとを解決する、いわば用心棒だ。そのかわり、明治組は店から謝礼を受け取る。新宿の裏世界の治安は、明治組が保っているといっても過言ではなかった。

関東明治組の豪造親分は、末端の売人より、彼らにグラスを卸しているヤツを捕まえたがっているらしい

若い衆の話では、キマ劇場広場の隅に立っていれば、売人のほうから声をかけてくるらしい。明治組は、麻薬やシャブのたぐいは御法度だ。自分の縄張りでグラスがさばかれていることに、親分の風林豪造も相当キリキリしているそうだ。

過激な政治結社

神宮寺は明治組の若い衆が教えてくれた通り、キマ劇場の隅で売人の登場を待つことにした。ポン引きやキャッチセールスをかわしながら、待つこと数十分。売人らしい南米系の男が声をかけてきたが、突然何かにおびえるように、どこかへと去ってしまった。

キマ劇場前に『君が代』の大音響をあげて、政治結社の宣伝カーが止まった。車の上に立った男は、道往く人々に訴えるべく演説をはじめた。内容は、国内の外国人を一掃しようという、過激なものだ。そのうち、ひとりの外国人が彼らの暴行にあってしまった。外国人は彼らに打ちのめされた後、演説者の制止で車のなかに運び込まれた。今日はもう、売人は来ないかもしれない。引きあげたほうがよさそうだ。

彼らの車に収容された外国人は演説者の命令で、手当した後、入国管理局に引き渡されるようだ

演説者の制止に不満そうだった男。

売人が動いた!!

次の日、神宮寺は再びキマ劇場前に来ていた。何やら落ちつきのない、挙動不審の青年が誰かを探している。売人を待っているに違いない。やがて、売人らしい男が現れ、青年を劇場の陰に連れていくと何かを青年のポケットにねじ込んだ。

売人は、紫のシャツにゴールドのネックレスと、ガラの悪い見本のような男だ。神宮寺は、男のあとをつけることにした。

やっと出てきた売人は、昨日の南米系の男ではなかった。ヤツの動向をさぐれば、捜査は確実に進展するだろう

尾行開始! 男を見失うな!

売人はふつう、大量のグラスを持ち歩くことはない。ひとりに売ってしまえば、それで売り切れだ。たとえ売れていなくても、少量なら捕まる前に捨ててしまえばいい。だから売人はひとりに売ったら、またグラスを取りに戻らなくてはならない。

神宮寺は、取り引きがすんだこの売人を尾行すれば、必ずシッポをつかめるとにらんだ。

日に5〜6人分は売らなければ、この街では生活できない。ヤツはもう一度動くはずだ!

いきなり見失ってしまった!?

売人は新大久保方面に向かって歩き始めた。神宮寺のヨミが正しければ、ヤツはまた売りに出るはずだ。

神宮寺は、男に気づかれないように50メートルほどの間隔をおいて尾行を開始した。ところが、迷路のような裏路地を抜けていくうち、神宮寺は男を見失ってしまう。通行人に男の特徴を話し、行方を聞きながら先に進むしかなさそうだ。そして神宮寺は、ボロアパートが密集するエリアで、男に追いつく。

尾行・調査画面に入る。目立つ男だから、通行人に聞けば行方をつかめそうだ

ついに目的の場所にたどり着いた!

神宮寺は通行人に男の特徴を伝え、その行方を訪ねた。どうやら男は、すぐ近くのアパートに入っていったらしい。ついに目的の場所にたどり着いたのだ。この辺りは、学生や外国人向けの安アパートがたくさんある。

男は、家賃が安そうな汚いアパートへ入っていった。ここが麻薬密売の拠点になっている可能性は、きわめて高い。このなかには、グラスの在庫がたんまりとあるに違いない。神宮寺は、物かげに身をかくし、ここでしばらく張り込むことにした。

やっと突きとめた売人のアパート。かなり、いかがわしい雰囲気だ

尾行のオキテ

尾行術は、探偵にとって絶対に必要な能力だ。「探り出すこと」が探偵の主な仕事だからだ。探偵を養成する学校では、まず尾行の基礎的な方法を教え、それから外へ出て実習するそうだ。もちろん、繁華街か田舎道か、相手が警戒しているかしていないかなど、周囲の条件によって方法も違ってくる。

基本的には、相手にこちらの気配を気取られないこと。神宮寺のように、50メートルくらいの一定距離を保つことが大切だ。

持っていると便利なのは、意外にもコンビニの袋。なかに何か入れて持ち歩けば、買い物帰りを演出でき、相手に怪しまれることが少ないのだ。

人通りの少ないこの辺りでは、高度な尾行術が必要だ

アパート前で張り込み開始

神宮寺は手帳を取り出して、電柱の住所表示とアパート名、部屋のナンバーを記録した。あとは、売人がもう一度売りに部屋から出てくるところを確認し、熊野に報告するだけだ。新宿で生きていくには、あと数人に売らなければならないはずだ。

少しして、男が再び部屋から出てきた。これで、このアパートが売人の住みかであることは確認がとれた。

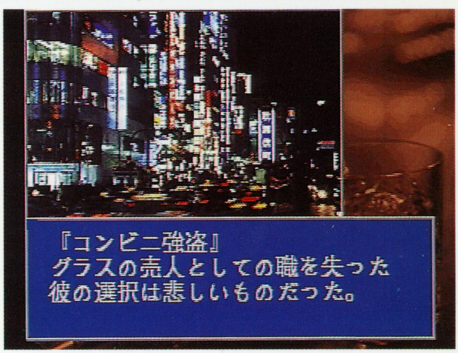
ここから先は、警察の仕事だ。何はともあれ、熊野に日頃の借りを返すことができそうだ。

アパートの住所を書きとめるためには、「持ち物」コマンドを使う

売人の悲しい末路

神宮寺は熊野に例のアパートの住所を報告した。それから数日後、アパートが家宅捜索され、大量の大麻が押収された。売人にグラスを卸している組織は、いまだ捜査中だ。こうして、神宮寺のグラス捜査は終わりを告げた。

何日かして、神宮寺は新宿で声をかけてきた南米系の男の行方を知った。コンビニ強盗……日本に働き口を求め、麻薬の売人に身を堕としてしまったあげくの、悲しい選択だった。今回の仕事は、神宮寺にとってあまり後味のいいものではなかった。



洋子、熊野の仕事も落着し、三者三様の決着をむかえた。神宮寺はあの南米人のことを考えると気が滅入るのだった

神宮寺・調査のポイント

神宮寺は近ごろの世界的な禁煙運動にも屈しない、筋金入りの愛煙家だ。名探偵の元祖、シャーロック・ホームズにもいえることだが、ヘビースモーカーの探偵は煙草を吸うことで頭をスッキリさせ、推理に集中することが多いようだ。神宮寺は調査中にも煙草を吸うことが多い。しかし尾行、潜入など、危険がつきまとう調査においては、携帯用の灰皿を持ち歩くか、煙草は一切吸わないようにしている。証拠を残さないことも、探偵の心得のひとつだ。

また、神宮寺のもうひとつの習慣は、私室の机で考えごとをすることだ。捜査に行き詰まったら煙草を吸ったり、私室に戻ってみるのもいいかもしれない。

捜査に必要なのは粘り。あきらめずに張り込んだり、観察しよう

COLUMN

世界の名探偵

世界で一番有名な探偵はやっぱりシャーロック・ホームズ!

■えり抜きの4人!

名探偵の代名詞、それはやはりシャーロック・ホームズではないだろうか? ロンドンのベーカー街221Bに居をかまえ、『バスカビル家の犬』『まだらの紐』など、さまざまな難事件を解決した名探偵だ。ベーカー街221Bには今でも、依頼の手紙が届くことがあるという。容姿は、長身でやせ型、灰色の髪と鋭い目の持ち主で、チェックのコートと鹿撃ち帽のコスチュームがトレードマークだ。ホームズは、依頼人の服装や手から、その人の職業や経歴を推理し、ズバリ言い当てることができた。

また、ホームズとワトスン博士の名コンビぶりは、後の探偵小説にも大きな影響を与えた。ポワロ&ヘイスティングス、御手洗&石岡、火村&有栖川らの名コンビがそれだろう。知力はズバ抜けているが性格が壊れている名探偵と、頭脳はそこそこだが人間味あふれる好人物の組み合わせ。それは、そうした探偵小説の、大きな魅力のひとつなのだ。

ホームズものっておもしろそうだけど、小説を読むのはメンドウ、という人にオススメなのは、NHKで放送された海外ドラマ『シャーロックホームズの冒険』。しっかりした時代考証もさることながら、ホームズ役のJ・ブレッドは容姿、演技とも本場イギリスでも好評だ。

ホームズと双璧をなす名探偵、それは「灰色の脳細胞」ことエルキュール・ポワロだ。著者は、ミス・マープルやハーリ・クィン、パーカー・パインら数々の名探偵を生み出したアガサ・クリスティだ。

ロンドンに住んでいるポワロは、実はベルギー人。背は小さいが、優れた観察力と推理力で『オリエント急行の殺人』や『ABC殺人事件』などの事件を解決した歴戦の名探偵だ。その名声は、母国ベルギーの皇帝の耳にまで届いていたという。

ポワロは、ホームズのように、精力的に動きまわって証拠を探すというよりも、持ち込まれた情報をもとに推理し、犯人を言い当てるアームチェア・ディテクティヴ(安楽イス探偵)タイプだ。忘れてならないのが鼻メガネの名探偵、エラリー・クイーンだ。本業はミステリー作家という設定なので、著者も同じエラリー・クイーン。代表作は『スペイン岬の謎』などが特に有名だ。天才的な推理力と直感力の持ち主で、あざやかに事件を解決してみせる。鼻メガネをとると、なかなかの美男子なので、女性のファンも多いようだ。

そしてもうひとり、G・K・チェスタトンが生んだブラウン神父も忘れてはならない。トレードマークは、大きな黒い帽子とこうもり傘。チビでまん丸い顔をした、さえない容貌の男だが、その卓越した人間観察力で事件を解明する。ブラウン神父の本職は、もちろん探偵ではない。しかし、教会は人と多く接する場所だ。そんな環境のなか、ブラウン神父は得意の人間観察眼で推理の材料を集める。クリスティのミス・マープルも同じタイプといえるだろう。

ムルソンにて……

政府開発援助（ODA）問題を取材に、ムルソン共和国を訪れたジャーナリスト与野恭介。そこで与野が見たものは、群遊ぶ魚でも、マングローブの森でもなかった。汚れきった海、重度の公害病患者、故郷を捨てる人々……与野は、世話になった村の人々を救うため、ひとり強大な権力に立ち向かう！

プレイヤー
KYOSUKE YONO

与野恭介

取材でレムチャ村を訪れた与野。帰国前夜、村人たちの密かな苦悩を知った与野は、ムルソンに残ることを決意する……。

「魔物」が棲む村・レムチャ

村を歩きまわる

フリージャーナリスト、与野恭介は東南アジアの国、ムルソンに来ていた。政府開発援助(ODA)問題を取材するためだ。首都ダバンからほど近い村レムチャに滞在し、仕事を終えることができた。

レムチャは、村人のほとんどが農業と漁業を生業にしている。村人は自然とともに生きる、純朴で善良な人たちばかりだ。しかし、日本の企業がレムチャに工場を建ててから、村人たちの生活は変わってしまった。まず、工場建設のために土地を奪われた人々が生活できなくなった。そういった村人は当然、大きな街や日本に出稼ぎにいくことになってしまう……。また、レムチャは漁業が盛んな村なのに、漁港にはまったく活気がない。工場ができてから、魚がとれなくなってしまったという。ODAは村人の暮らしも、美しい景観も、すべてを奪ってしまったのだ。

村の出入り口からは、村の神聖な場所へ続くという道が見える。よそ者は入れない、禁断の地だ。与野も村の文化に土足で踏み込まないよう、注意を払った。そんな与野の人柄もあってか、村人とのコミュニケーションもうまくいき、無事帰国できるはずだったのだが……。

すっかりさびれてしまった漁港。村最後の漁船は、漁師のソムチャイのものだ。漁業がさかんなはずの村が、なぜこんなことに……?

自然と調和した家々がならぶレムチャ。のどかな風景は与野のお気に入りだ。しかし、一見平和そうなこの村も、ODAの影響で確実に変化している

チャイワットの店

村で唯一の雑貨店&食堂をいとなむチャイワット。人なつっこい笑顔が店先に現れた。強烈に腹が空いた与野は、チキン粥を注文する。与野はどうやら、辛いものが苦手なようだ（ムルソン料理が激辛なのかもしれない）。

村の漁師、ソムチャイも一緒だった。村長の家の裏に住んでいて、与野とも仲がいい人物だ。

ソムチャイとの会話の中で、与野は彼に病気の子供がいることを知る。ところが、回復を祈る、と与野が見舞いの言葉をかけたとたん、ソムチャイの顔が苦悩の色に満ちた。どうやら、触れてはいけない話題だったようだ。

チャイワット（左）の店は、村で唯一の雑貨店、兼食堂だ。店内にはいろいろな道具が雑然と置かれている

ソムチャイの子供は、難病にかかっているのだろうか。気になる……

村長の家

チャイワットの店は、気まずい雰囲気に包まれてしまった。ここは、早めに食事を終えて立ち去った方がいいと、与野は判断した。

食事が終わった与野は、滞在先である村長の家に戻った。村長なら、ソムチャイの子供のことを何か知っているに違いない。ところが村長は「魔物の仕業だ」という謎の言葉を残し、その場から去ってしまう。その顔は、ソムチャイと同じく、苦悩にゆがんでいた……。このことは、ソムチャイだけでなく、村長の前でも触れてはいけない話題らしい。

夜、与野は昼間の村長の言葉が脳裏に焼きつき、なかなか寝つけないでいた。天井をながめながら「魔物」に思いをめぐらす。ソムチャイと村長をあんなに苦しめる「魔物」とは一体なんなのだろう。考えれば考えるほど、眠れなくなってしまう。あきらめた与野は、サンダルをひっかけて散歩に出かけることにした。

村長の言う「魔物」とは、どういう意味なのか？　何か得体の知れないものが静かに、そして確実に村を蝕んでいるようだ

与野にあてがわれた部屋。歴代村長の絵などが飾ってある。与野は、この部屋の天井をながめながら考えごとをすることが多い

尾行の果てに見たものは……!?

サンダルをつっかけて、夜の村を散歩する与野。夜風にあたれば、眠れるかもしれないと思ったのだ。

しばらく行くと、よそ者は立入禁止の「神聖な場所」へと続く道に、ふたつの人影が見える。村長とソムチャイだ。

与野は、村人のプライバシーや慣習を侵害しないよう努めてきた。しかし、ムクムクと頭をもたげる好奇心には勝てない。やはりここは、ふたりの後をつけて、何があるのかを見届けたい。ふたりは、神殿に入っていった。彼らに気づかれないよう、与野も後に続いた。そこで見たものは、奇形の家畜や、手足や背骨が異様にねじ曲がった老人、子供だった!!　これが、「魔物の仕業」なのだろうか?

外は月あかりのおかげで、結構明るい。ふたりを見失わないよう、尾行開始だ

神殿のなかは、被害者たちの悲しみや苦痛の声であふれていた。

「魔物」の正体

与野は、驚くのとほぼ同時にソムチャイに殴られ、気絶してしまった。目が覚めると、与野は牢に閉じこめられていた。与野の真剣な態度に、「魔物」の正体について教えてくれた。施設ができてから、すべてが狂いだしたという。施設建設で田畑を奪われた村人が暮らせなくなってしまった。そのうち魚がとれなくなり、村にはおかしな病気が流行りだしたのだ。

神の祠を壊して工場を建てたので、魔物が入ってきたと噂する村人も多い

サンプルを採取するには?

原因は施設しか考えられない。村人は排水の水質検査を工場に申し入れた。回答は「異常なし」。しかし、検査をしたのは工場側の人間だ。もっと公正な場所で検査する必要がある。

与野は、良くしてくれた村人たちの手助けをすることを村長に申し出る。ソムチャイを始めとする、村人たちの協力も得られるだろう。

与野は村人を救うため、ジャーナリズムという武器を使うことを決意する

道具を集める

水質検査をしてもらうには、工場排水のサンプルを採取しなければならない。そのための道具を集めなければ……。

村長に相談すると、役に立ちそうな物を自由に使っていいと言ってくれた。この村で物が充実しているのは、やはりチャイワットの店だ。

金具で補強してあるバケツ、ナンプラー（魚から作るしょう油）など調味料を入れる小ビン、そしてイザというとき役に立ちそうなアイテムがもうひとつ。

3つのアイテムを持って、与野は漁港へと向かった。

雑貨店でもあるチャイワットの店なら、何かイイ物がありそうだ。排水をくみ上げるバケツ、サンプルを入れる小ビン、あともうひとつは？

必要なアイテムは3つ。全部集めたら、準備よしの選択肢を選んで、海に乗りだそう！

サンプル入手!!

漁港では、ソムチャイが準備を整えて待っていた。海は青く、汚染されているなど、とても信じられなかった。しかし、施設に近づくにつれ、さわやかな潮の香りは、強烈な腐敗臭に変わっていった。できるだけ排水口に近づき、サンプルを採取しなければならない。与野はバケツにロープを結んだ物を投げ込み、海水を引きあげた。水をガラスビンに入れ、サンプル採取は完了だ。

与野は海の予想以上の汚れように、ぼう然とした

ダバンへの道

無事サンプルを採取したら、村から一番近い水産試験所があるダバンへ行かなければならない。村からダバンにでるバスは、まだまだ来ないようだ。ダバンに働きに出る村人がいるので、一緒に連れていってもらおう。トゥクトゥクに乗っていくか？と村人に誘われるので、与野は便乗することにした。断っても、気のいい村人は待っていてくれる。

ダバンは、トゥクトゥクに乗って2時間ほどの所にある。運転している村人は、村を出なければ生活できないという。最近は都市でも職につくのは難しいらしい。

トゥクトゥクは東南アジアではポピュラーなバイクに似た乗り物。「トゥクトゥク」というエンジン音がするため、この名がついた

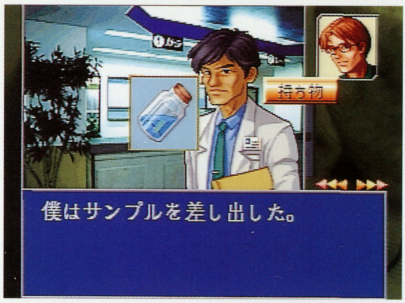
村人は日本は憧れの国だという。日本の援助で職を奪われた人々が行き着く先が日本とは、皮肉な話だ

首都・ダバンへの旅

水産試験所

水産試験所についたら、受付で用件を伝えよう。すぐに担当者が出てくる。用紙に必要事項を記入したら、サンプルを渡そう。結果は追って連絡があるそうだ。

しかしこの担当者、とても無愛想で事務的だ。こういった人物に、こんな大切なことを託してもいいのだろうか……。何だか不安になってしまうが、ここはおとなしく試験所から出るしかないようだ。



検査結果が出れば、工場を操業中止に追い込むことも可能だ

池上との再会

水産試験所を後にした与野だが、帰りの交通手段がない。しかたなく、ルンパーニ公園を通って、カオスン通りで時間をつぶすことにした。ここなら、深夜営業の店も多い。与野は店内をじっくり観察してみた。何やら、日本人が言い争いをしているようだ。よく見ると、かつての与野の上司でもあり、恩人でもある池上康明だった。

池上は、今日本で問題になっている密入国について取材しているという。与野が取材した、ODA問題も十分に関連性があるネタだ。ODAによって職を奪われた人が、密入国者として、日本に流入してくるからだ。

ふたりは、密入国取材を一緒に行なう約束をして別れる。しかしそれは悲劇の始まりだった……。

首都ダバンでも屈指の大きさを誇るルンパーニ公園。人々のいこいの場所だ。村からの定期バスもこの辺りで停まる

ダバンでもっとも賑やかなストリートのひとつ、カオスン通り。旅行客向けの深夜営業の店が軒を連ねている。ボラれることも多いようだ

池上は与野が大手出版社に勤めていたころの上司だ。与野がフリーになってからも、何かとバックアップしてくれている。ここで、池上が滞在先のメモをもらおう

三紅ムルソン

池上からアドバイスを受けた与野は、さっそく三紅ムルソンを訪ねた。三紅は、世界をまたにかける国際的な大企業だ。例の施設は、その関連会社が操業しており、管理責任は三紅にある。応対に出た担当者は人当たりがよく、好感を持てる人物だった。ことのあらましを伝えると、再調査を約束してくれた。これで施設の操業を止められるかもしれない。

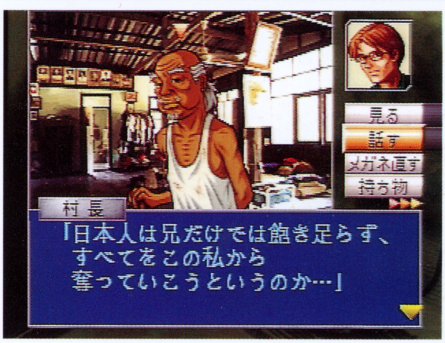
企業が、不法投棄を知っていながら工場を操業していたとしたら大問題だ

施設の不正をあばけ!

水産試験所の回答はデタラメだ!

数日後、水産試験所から返ってきた検査結果は意外なものだった。サンプルからは、工場からの排水に結びつくような有毒物質は発見されなかったというのだ！

そのとき、与野は日本の出来事のことを思い出した。大量に打ち上げられた奇形の魚、絶え間なく続く痛み……レムチャのケースは、日本で起きた悲劇によく似ている。与野は、激しい義憤と憎悪にかられ、その日最後の定期バスで、水産試験所へと向かった。



悲嘆にくれる村人たち。与野は自分の無力に怒りを覚えた

意外な協力者

中に入ると、この前の無愛想な男が応対に出た。彼は与野を研究室に連れていくと、自分は研究員だと言い、書類の束から封筒を取り出した。これが、本物の回答だというのだ！　さらに与野は彼の口から、衝撃の事実を知ることになる。ひとつは、村だけでなく三紅に提出された結果もニセ物であること。そして、この水産試験所を建てたのは施設を経営している連中ということだ。男は本物の検査結果を、与野に渡してくれた。彼はレムチャ出身で、ソムチャイの弟だったのだ。

ヘタをすれば、彼は秘密漏洩の罪に問われてしまうだろう。そんな危険を犯しても、彼は故郷を救いたかったのだ

そして和解へ……

与野が持ち帰った本物の回答には、驚くべき検査結果が記されていた。サンプルからは、ムルソンの安全基準をはるかにこえる有毒物質が検出されていたのだ。

与野はソムチャイに、弟のナワラットに世話になったことを伝えた。彼の協力なくしては、村を救うことはできなかっただろう。工場は操業停止になり、村には多額の賠償金が支払われることになった。

問題は一応の解決をみた。しかし、失ったものは二度と返ってはこない

再びダバンへ。

池上を探せ!

与野が持つデータを公表しないことを条件に、工場側との和解が成立した。ODAの悪事を公にすることはできなかったが、村人たちの笑顔に与野は満足していた。

そして与野は、大勢の村人に見送られ、池上と合流するためにダバンへ向かった。池上が滞在しているホテルは、カオスン通りにある。以前、池上からもらったメモをたよりにホテルを探さなくてはならない。しかも池上は、絵があまり得意なほうではないようだ……。

カオスン通りから、池上のホテルまでが尾行・調査画面。レムチャとは違う都会の風景だ。シルエットの人の情報をよく聞こう

どうやら、人に道を聞きながら池上のホテルを目指すしかないようだ。

目的のホテルにたどりついた与野は、受付の女性に池上の部屋をたずねる。池上の部屋は403号室だ。ベニヤ板でこしらえたナンバープレートを頼りに、403号室を探す。おせじにも、高級なホテルとはいえないようだ。しかし、与野の心ははずんでいた。池上と一緒に仕事ができることが、心からうれしかったのだ。

受付の女性は化粧が濃く、応対が悪い。内装も汚く、うらぶれた印象だ

池上殺害、そして帰国……

与野は池上の部屋をノックした。返事がない。眠っているのか留守なのか、もう一度ノックしてみた。やはり返事がない。カギがあいている。与野は部屋に入ってみることにした。池上の名を呼んでみるが、返事はない。人の気配もしない。やはり、留守にしているのだろうか……。

部屋の明かりをつけた与野が見たものは、血まみれで床に倒れている池上の姿だった!!　もはや虫の息の池上は、最後の力をふりしぼり与野にメッセージを残した。「丘安組（おかやすぐみ）」……それが池上の最後の言葉だった。

実の兄のように慕っていた池上の死は、与野に大きな衝撃を与えた。ともかく、池上をこのままにしてはおけない。警察に知らせるため与野はフロントに降りた。

そして与野は、池上の遺骨とともに日本に帰国した。池上が残した謎の言葉「丘安組」とは、一体何を意味するのだろうか？与野は復讐を心に誓い、白い繻子にくるまれた与野の遺骨をしっかりと抱きしめるのだった。

意外な形で訪れた、池上との永遠の別れ。なぜ、池上は殺されなければならなかったのか。取材のことで、なにかトラブルがあったのだろうか

たくさんの人で混雑している空港。池上は無言の帰国となってしまった。与野は悲しみも新たに、その遺志を継ぐことを決意する

与野の優れた観察眼と旺盛な好奇心は、大きな強味だ

与野・調査のポイント

与野のクセは、ズリ落ちたメガネを直すこと。そうするといい考えが浮かんだり、良くも悪くも、ジャーナリスト特有の好奇心や粘り強さが発揮される。たとえ行き詰まったとしても、これで道が開けるというわけだ。

また、与野の誠実さは、最大の武器であると同時に弱点にもなりうる。アツくなって、先走ったりしなければいいのだが……!?

COLUMN

日本を代表する名探偵

日本の三大探偵

■3人の伝説的名探偵

日本が世界に誇る名探偵といえば、この3人をおいてほかにない。明智小五郎、金田一耕助、神津恭介だ。

なかでも、もっとも有名なのが明智小五郎だろう。著者は『人間椅子』『孤島の鬼』などで、あまりにも有名な江戸川乱歩。児童書も豊富なので、子供のころ親しんだ人も少なくないはずだ。

舞台やドラマなどでは、明智は身なりのいいスマートな紳士として描かれている。原作でももちろんそうなのだが、登場したころは和服の書生だった。名探偵の意外な過去だ。

明智小五郎の物語は何度となく舞台化されているが、特に有名なのが美輪明宏の演じる『黒蜥蜴』。敵ながらひかれあう明智と、美しき女賊、黒蜥蜴の対決に胸をときめかせたファンも多い。その後も、小林少年の登場や宿命のライバル、怪人二十面相との戦いなど、明智シリーズの人気は衰えることを知らず、今でも多くの人に読み継がれている。

2番手は孫も大活躍の名探偵、金田一耕助だ。最近、豊川悦司主演『八つ墓村』が映画化され、ブーム再燃といった感もある。原作は『真珠郎』などの耽美小説でも名高い横溝正史だ。

金田一は、ボサボサ頭でまったく風采のあがらない男だが、事件となれば抜群の推理力を発揮し、事件を解決する名探偵。考えるとき、頭をボリボリとかいてフケを落とすクセは、映画やドラマでも有名だ。その捜査方法は、警察から基本的な調査報告を聞き、それを自分なりに推理、発展させていくという独自のもの。警察が得た情報を横取りするのだから、ズルイといえばズルイ。それでも、金田一が名探偵の代名詞として親しまれているのは、そのトボけた容姿や性格だけではない。弱者に対するいたわりや、犯人に同情してしまう優しさが読者の心をとらえてはなさないのだ。

金田一ものの代表作は『本陣殺人事件』『悪魔の手毬唄』『犬神家の一族』など、多数。映画も石坂浩二ら名優の主演でたくさん作られているので、原作を読んだ人もそうでない人も、ぜひ観てみよう。

そして最後は完全無欠の名探偵、神津恭介だ。明智小五郎や金田一耕助にくらべ、少し知名度はおとるかもしれない。しかし、女性読者の人気は、おそらく神津が一番だろう。

神津恭介の本職は東京大学法医学部教授だが、警察に協力することもしばしば。頭脳明晰で、ピアノの名手、人目をひかずにはおかない美貌、どれをとっても人並みはずれている天才型探偵だ。しかも、高校時代に失恋して以来、ガンコに独身主義を通している（後に結婚したようだが）。

著者は、社会派ミステリでもその才能を発揮した高木彬光。代表作は『成吉思汗（ジンギスカン）の秘密』や、江戸川乱歩に認められた処女作『刺青殺人事件』など。　探偵はハンサムで、多少女嫌いの方が人気が出るようだ。

外国人連続殺人事件

外国人不法就労者が相次いで殺される事件が、世間を騒がせていた。被害者の遺体はみなズタズタに切り刻まれ、はらわたがえぐり出されていた。犯人はなぜ、陰惨な快楽殺人を繰り返すのか？　なぜ、外国人ばかりを狙うのか？　凶悪犯罪に、神宮寺と熊野が挑む！

プレイヤー
SABURO JINGUJI

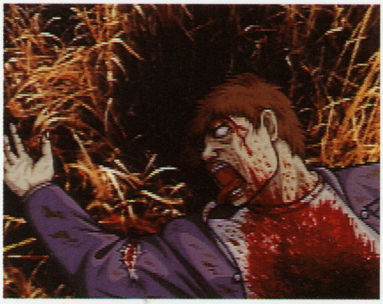
神宮寺三郎

近ごろ、外国人ばかりを狙う殺人鬼が、世間を騒がせていた。事件を担当することになった熊野が、神宮寺に協力を求める。

外国人無差別殺人の謎

連続殺人の幕開け

その日はよく晴れた、さわやかな朝だった。津崎直也はいつものように、愛犬のプーを連れて散歩に出かけた。広場まで来ると、津崎はプーをはなしてやった。しばらくすれば、プーは自分から戻ってくる。しかし、その日に限ってプーは戻ってこなかった。不審に思った津崎は、プーが吠える方向をのぞいてみた。そこで見たものは、無惨に切り刻まれた外国人の死体だった。



ズタズタに切り刻まれた遺体。その猟奇的なやり口に、津崎や捜査員たちは戦慄した

またまた警視庁の依頼

熊野が深刻な面もちで、神宮寺事務所を訪れた。何か事件がおこったらしい。このところ、外国人労働者が相次いで殺されるという事件が発生していた。マスコミにはまだ未発表だが、被害者たちの体はズタズタに切り刻まれ、ひどいものでは眼球までえぐり取られているという。

被害者の3人の外国人に接点は見当たらず、捜査は難航していた。そこで熊野は、神宮寺に応援を求めてきたのだ。外国人相手では言葉は通じない。オマケに、彼らは法を犯して入国しているので、警戒して何も話してくれないのだ。

神宮寺は、この依頼を受けることにした。まずは現在の捜査状況を知ることが必要だ。

津崎の聞き込みは洋子にまかせることにした。何か手がかりが見つかるといいのだが

新宿には不法就労者がわんさといる。そこで、熊野が捜査に当たることになったのだ

プレイヤー
YOKO MISONO

御苑洋子

死体の第一発見者、津崎直也に会いにいくことにした洋子。持ち前のカンの良さを発揮できるか!?

首飾りの意味するものは……!?

津崎直也と愛犬プー

洋子は、死体発見当時の話をくわしく聞くため、津崎直也を訪ねることにした。津崎は温厚な好人物で、愛犬のプーがかわいくてしかたがないといった感じだ。津崎は、洋子を死体発見現場に連れていってくれた。人気が少ない場所だ。もしプーが見つけなかったら、ずっとこのままだったかもしれない。死体はあお向けに倒れていて、内臓がえぐり取られていたという。

考え込む洋子の足元で、プーがじゃれていた。どうやら洋子に自慢の「宝物」を見せたいらしい。そのなかから洋子は、金の首飾りを見つけた。持ち前の鋭いカンが、何かを警告していた。プーには申し訳ないが、洋子は首飾りを持ち帰ることにした。

早起きしてプーを散歩に連れていくのが習慣になっている津崎。愛犬家らしいやさしさが、外見ににじみ出ている

追いつめられた人間は、どう抵抗するのか？ 首飾りが何か関係あるかもしれない！

突然の悲報……

聞き込みから戻った洋子を待っていたのは、突然の悲報だった。神宮寺の飲み友だち、池上が殺されたというのだ。悲しみが、事務所内を重苦しく圧した。洋子は神宮寺の心中を思うと、何ともやりきれなくなってしまった。池上の訃報をもたらしたのは、彼の後輩の与野恭介という男だった。神宮寺は外国人連続殺人事件の捜査が終わったら、与野に協力することを約束した。

与野は自分の連絡先を神宮寺に教えると、独自の調査に戻っていった

プレイヤー
SABURO JINGUJI

神宮寺三郎

何の接点も見当たらない3人の被害者。神宮寺はまず、殺された外国人たちの身元を洗うことにした。

トーマスの謎

被害者は3人

警察から、正式な依頼がきた。神宮寺は、現段階での捜査状況を知るため、淀橋署へと向かった。淀橋署で受け取った資料には、遺体発見現場をまとめた地図と、身元がわかっている被害者ふたりの写真、それと身元照会リストだけだった。

被害者は3人、トーマス・アンダーソンとスヴィチャン・ソラダ、そして身元不明がひとりだ。アメリカ人のトーマスをのぞくふたりは東南アジア人で、ソラダはムルソン人だ。神宮寺はまず、トーマス・アンダーソンの調査から始めることにした。

淀橋署でもらった資料には、大したことは書かれていなかった。警察の捜査は、それだけ難航していたのだろう

トーマスのアルバイト先・ベニス

トーマス・アンダーソン、26歳。就学ビザで入国し、M大学に在籍していた。来日したのは、昨年の3月。昼は大学に通い、夜はアルバイト先のベニスで働いていた。まじめな性格で周囲の評判も良く、恨みを買うような人物ではないようだ。

ベニスは、神宮寺も何度か足を運んだことがある、落ちついた雰囲気のバーだ。事務所からも近く、捜査のとっかかりとしてはまさに理想的だ。

神宮寺は、ベニスに聞き込みに行くことにした。

ベニスのマスター、佐々木は神宮寺を知っていた。おだやかで、知的なほほえみが印象的だ

従業員の証言

ベニスのマスター佐々木は、閉店後に従業員を一堂に集めてくれた。彼らの証言によると、最後にトーマスを見たのは死体が発見された日の前々日。殺される前に特に変わったことはなく、体を壊して健康診断をした程度だ。勤務態度もまじめで、大学での評判も良かったという。一介の留学生がなぜ、こんな悲劇に巻き込まれたのか？

ベニスには、外国人の従業員も多い。女性は、佐々木の娘だ。みんな、警察の聞き込みでウンザリ気味で、いまいち非協力的

ソラダの謎

中村青年から貴重な情報を聞き出せ

ベニスでは、もうこれ以上の情報は得られそうになかった。トーマスに関する調査は、ここで完全に行き詰まってしまった。しかたなく神宮寺は、ソラダについて聞き込みを開始することにした。

冷たい風が吹きわたる臨海地区が、スヴィチャン・ソラダの職場だった。遺体の確認をしたのは、中村和之という青年だ。身分を明かすと、中村は安心したように、いろいろ話してくれた。ソラダには借金があったらしく、殺される何日か前にヤクザ風の男が、うろついていたという。詳しいことは、朝日興業のヤンにきけばわかるということだ。

ソラダが働いていた臨海地区。ここで働いているのはほとんど外国人で、日本人はほんのわずかだ

ソラダと親しかった中村。彼はヤンのことを心配して、警察には言えないでいたのだ

朝日興業は不法就労者の天国？

神宮寺は中村に教えられた通り、上野の朝日興業を訪ねた。2階建ての、下町情緒あふれる町工場だ。今のこういった町工場は、外国人労働者が多く働いている。朝日興業は比較的、労働環境がよさそうだ。

どこにでもありそうな町工場、朝日興業前。玄関先をよ～く観察すると、あの人が喜びそうなものが落ちている

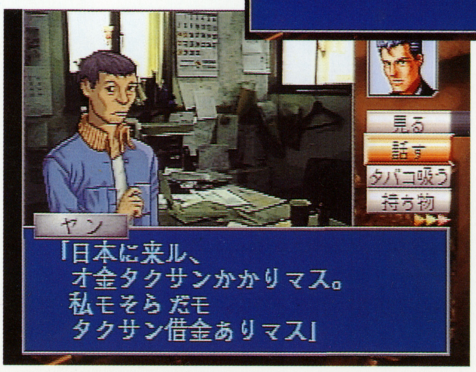
密入国を手引きしていたのは前原

朝日興業の社長に用件を伝えると、すぐにヤンを呼び出してくれた。ヤンはあきらかに警戒していたが、中村の名前を出すと少し安心したようだった。

ヤンとソラダはムルソン人で、同じ船に乗って入国した仲間だ。入国するには多額の金がかかり、ヤンもソラダもその金を払い終わっていないという。密入国の手引きをしたのは、ヤクザの前原という男。そして、ソラダが殺される数日前から金を返せと、しつこくつきまとっていたらしい。

ヤンは、これだけ言うと口をつぐんでしまい、これ以上聞き出すことはできなかった。

朝日興業の社長。不愛想でロは悪いが、人情に厚い人らしく、神宮寺をこころよくむかえてくれた



密入国には500万円もの金がかかるらしい。ヤンたちは前原に金を返しつつ、本国にも仕送りしなければならないのだ

前原を追って

ヤクザのことはヤクザに聞け!?

神宮寺はヤンが教えてくれた、前原というヤクザのブローカーについて調べることにした。前原なら、何か手がかりをにぎっているかもしれない。

蛇の道はへび、関東明治組の風林豪造親分に聞けば、いかなる人物かわかるはずだ。神宮寺が前原のことをたずねると、豪造はすぐに調べてくれた。

前原貴史、丘安組の舎弟頭で、相当ヤバい男だというウワサだ。組長は丘安仁、組員は20人程度で、まだどこの組からも盃はもらっていないらしい。表向きではOWIという貿易会社を経営している、いわば経済ヤクザだ。人身売買や麻薬など、金になることなら、どんな汚いことにも手を出すらしい。

歌舞伎町一帯をしきる関東明治組。新宿以外にシマを拡げないのは、豪造親分のポリシーらしい

威風堂々とした風林豪造。その威圧感には、神宮寺ですら気圧されるほど。絶対に敵にまわしたくないタイプだ

OWI前で見た超危険な男

神宮寺はさっそく、OWI（丘安ワールドインポート）ビルの前で張り込むことにした。路地に身をかくし、様子をうかがうこと数時間、それほど目立った人の動きはなかった。どの男が、前原貴史なのかは不明だが、ひときわ神宮寺の気をひくタイプの男がいた。長髪で、明らかにそのへんのチンピラとは違う、危険な雰囲気をまとっていた。

それからしばらくすると、黒いベンツのリムジンが、ビルの前に停まった。出入り口には、サラリーマン風の組員が大勢出むかえに来ている。この男がきっと、組長の丘安仁なのだろう。きちっとした身なりはとてもヤクザには見えなかったが、その目は狡猾で貪欲なケモノを思わせた。

上野にある、丘安組の本拠地。豪造はシロウトの手に負える相手ではないと言うが、今さらひけないのだ

一見するとふつうの会社だ。上等のスーツに身を包んではいるが、その悪どい性質をかくしおおせはしなかった

運命の出会い、そしてもたらされた訃報

張り込みが終わった神宮寺は、同じようにOWIビルを観察する男に気づいた。神宮寺を丘安組の人間だと思い、ひどく警戒している。私立探偵であることを明かすと安心したらしく、自己紹介をした。

男の名は与野恭介。創文社に勤める記者で、池上の後輩にあたるらしい。与野は、神宮寺に衝撃の事実を伝えた。池上が死んだというのだ！

池上の遺志が、ふたりを引きあわせたのかもしれない

神宮寺を丘安組と間違えたのも仕方ない。命がけの調査だからだ。

与野から見た神宮寺

初めて出会ったとき、与野は神宮寺を丘安組の組員と間違えた。神宮寺がヤクザに見えたのだろうか。

第一印象は悪かったかもしれないが、この後与野は神宮寺という人間の深さを知ることになる。神宮寺は「この人がいれば、何とかなる」と思わせるような男なのだ。神宮寺は、池上からの信頼も厚かったようだ。そうでなければ、大切なカギを預けたりしないだろう。

池上との思い出

神宮寺と池上は、中央公園に屋台を出すおでん屋で出会った。そのころ、ある事件をしくじってしまった神宮寺は、おでん屋のオヤジが止めるのも聞かず、浴びる程酒を飲んだ。『浴びるほど飲まなきゃ、忘れられないことだってあるさ。でも、明日からは違う自分になっていないとな……』そう言ったきり、だまって酒を注ぎ続けてくれたのが、池上だった。

神宮寺と池上は十年来の友のように、語りあう仲だった

犯人逮捕、そして新たな事件

与野の決意

神宮寺は、与野からもたらされた突然の悲報が信じられなかった。ともかく、与野を事務所に連れていき、詳しい話を聞くことにした。池上は与野が大手出版社に勤めていたときの上司だった。そこで、ライターとしてのノウハウを蓄積し、フリーとして独立した。与野がフリージャーナリストになってからも、池上はいろいろと世話を焼いてくれたらしい。与野にとって池上は、兄のような存在だったのだ。

与野に、例のエアメイルを見せてみた。確かに池上の筆跡だという。与野はフリーという立場を捨て、池上の遺志を継いだ。その目は復讐というより、使命感に燃えていた

与野の話では、池上は取材先のムルソンで強盗に刺し殺されたという。同じころ与野もムルソンに滞在していて、自分の仕事が終わり次第、池上と合同で取材を始めるつもりだったらしい。

しかし与野は、金銭目当ての強盗のしわざとは思っていない。池上は、ムルソンからの密入国について取材していた。そのことで、何らかのトラブルに巻き込まれたのではないか。

与野は池上が遺したルポを完成させるべく、創文社に入った。そして、池上が最期につぶやいた言葉を手がかりに、丘安組の身辺を探っていたというわけだ。

神宮寺と与野は連絡先を交換し、かたい握手をかわした。神宮寺も、今手がけている調査がひと段落したら、与野に協力するつもりだった。神宮寺にとって、与野は池上の思い出でつながった、唯一の人間なのだ。神宮寺と与野は、お互いの調査に戻った。いずれ、一緒に調査に出かけることもあるだろう。

熊野は堂黒会へ

外国人連続殺人の被害者のうち、身元がわからなかった男は、神宮寺がグラス捜査のとき新宿で目撃した、あの暴行された男だ。外国人排斥を訴える組織に暴行された男が殺害されたのだ。これは、疑ってかかる必要がある。

組織の名は、大日本堂黒会。こちらには、熊野が当たってくれることになった。また、密入国者と深い関わりがある前原のことも見逃せない。丘安組と堂黒会、このふたつの組織は、事件に何らかの形で関わっているはずだ。

熊野は、ひとり日本堂黒会の事務所へと向かった。過激な連中らしいので、熊野といえど油断はできない

洋子の報告

神宮寺は、津崎直也に聞き込みに行った洋子から、報告を聞くことにした。

洋子は、金のネックレスを持ち帰った。津崎の愛犬プーがかくしていた物だという。

洋子は自分の考えを語った。殺されそうになり、もう逃げ場がないというとき、人間はどんな行動をおこすだろうか？　きっと、無我夢中で相手につかみかかるだろう。はげしく抵抗したとき、犯人が身につけていたネックレスが引きちぎられた可能性は高い。それに、あんな人気のない所に金の首飾りが落ちているのは不自然だ……。神宮寺は、洋子のカンの良さと、抜群の洞察力におどろかずにはいられなかった。

しかも神宮寺は、洋子が持ち帰ったネックレスに見覚えがあった。キマ劇場前で、外国人に暴力を振っていた男がしていた物だ。しかもその外国人は、暴行を受けた日から２日以内に殺害されている。そんな男の持ち物が、死体発見現場の近くから見つかったことは、果たして偶然なのだろうか。外国人が、堂黒会の車で連れ去られた後の足どりをつかめれば、事件は大きく前進するはずだ。首飾りも、堂黒会の男がしていた物だと証明できれば、物的証拠になる。

洋子が、犯人の物ではないかとニラんで持ち帰った首飾り。あの外国人を最後までなぐっていた男が、身につけていたものと同じだ

堂黒会から熊野が帰ってきた。構成員の上田という男の首に、何かで絞められたような痛々しいキズがあったという。これで、推理の輪がつながった！

首飾りをネタに、ゆさぶりをかけろ！

上田の首のキズと、洋子が持ち帰ったネックレス。すべての状況証拠は、上田が犯人であることを指し示していた。これではまだ証拠不十分だが、重要参考人として連行し、取り調べをすれば、かならず吐くに違いない。

神宮寺は、熊野とともに大日本堂黒会の事務所前で、上田が出てくるのを待つことにした。ふたりが到着したとき、ちょうど上田が事務所から出てきた。神宮寺と熊野は、すかさず声をかけた。熊野は、さっそくネックレスの話をきりだした。外国人の死体発見現場で、犯人の物と思われるネックレスが発見されたこと。また、キマ劇場での暴行事件のとき、上田がしていた物と同じだという、神宮寺の証言を伝えた。

熊野の言い分を、上田は否定した。もともと、ネックレスなど身につけていないというのだ。しかし、熊野はネックレスには上田のイニシャルが刻まれているではないか、と食いさがった。上田はそれを聞くと、我が意を得たり、とばかりに元気づいた。そして、致命的なひと言をもらしてしまう。「俺のネックレスには、イニシャルなど入っていない。」と。上田は自分から、ネックレスをしていたことをバラしてしまったのだ。上田は、外国人連続殺人事件の重要参考人として、連行された。このタヌキめ、神宮寺は心のなかでニヤリとした。

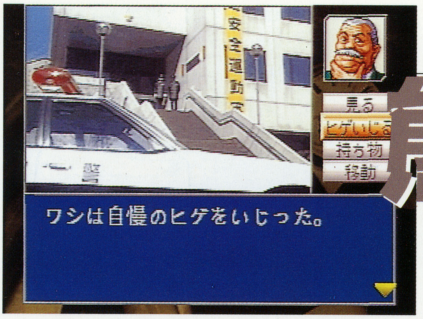
上田は以前から外国人に暴力を振っていた。ときおり「ナイフで切り刻んで捨ててやる！」ともらしていたという。ネックレスの話をすると、その顔がみるみるうちに青くなった。もうひと押しだ！

上田は重要参考人として、淀橋署に連行された。取り調べ室に直行した上田は、キマ劇場前で暴行した外国人の殺害については認めたらしい。しかし被害者は３人いるのだ。上田でないとすれば、あとのふたりは誰が……？

名探偵の３カ条。キミはいくつ満たしている？

名探偵の条件

名探偵の元祖、シャーロック・ホームズは名探偵の条件を３つあげている。それは推理力、知識、行動力だ。ホームズの兄、マイクロフト・ホームズは、弟のシャーロックを上回る推理力と知識を持っている。しかしマイクロフトが探偵に向いていないのは、行動力がないせいだ。また、知識がないと推理を発展させたり、とっかかりをつかむことができないのだ。



プレイヤー
SANZO KUMANO

熊野参造

外国人連続殺人事件の担当になった熊野。神宮寺が集めてきた手がかりをもとに、オイシイところを総ざらい!?

隙のなくアヤしい堂黒会

さすがの熊さんもお手上げ!?

外国人ばかりを狙って殺す殺人鬼が、世間を騒がせていた。新宿には不法就労の外国人が多いことから、この事件は熊野が受け持つことになった。

しかし、捜査は予想以上に難航した。警察という国家権力に外国人たちが警戒してしまい、聞き込みも満足にできないありさまだった。被害者は3人。彼らの間に、共通点がまったく見られないことも、熊野の頭を悩ませた。

そこで熊野は、神宮寺に捜査の協力を依頼することにした。身軽な私立探偵なら公的機関ではできないこともできるだろう。また警察は、その組織力で探偵が知らない情報を得ることができる。熊野と神宮寺は、そうした持ちつ持たれつの関係で、うまくやってきたのだ。

さっそく神宮寺は、淀橋署の熊野のもとに関係資料を取りにきた。神宮寺は3人の被害者の写真のうち、東南アジア系の男のものに見入っていた。聞けば、一度見かけたことがあるという。

熊野は、今回も神宮寺に確かな期待をよせていた。

その道30年の熊野も苦戦しているらしい。神宮寺は洋子とも相談してみると言っていたが、どうやら引き受けてくれそうだ

ウラの世界に顔がきく神宮寺なら、必ず何かをつかんできてくれるだろう。淀橋署にも、神宮寺くらい有能な刑事がいればと、心底思う熊野だった

堂黒会はキケンなニオイがプンプン

熊野は外国人排斥を訴える大日本堂黒会で話を聞くことにした。小規模ながらも、武闘派として知られている政治結社だ。神宮寺の話によると、身元不明の男性は数日前、キマ劇場前で堂黒会の連中に暴行されていたという。断定することはできないが、はっきりいってアヤしい！

堂黒会のリーダー、倉田鉄人は大した威圧感の持ち主だった。後ろに並んだ若者たちは直立不動のままで、倉田の合図があるまでは、座ることすら許されないらしい。

熊野は暴行された外国人のこと、堂黒会と外国人連続殺人の関わりなどを、単刀直入に聞いてみた。倉田の答えは「否」だった。外国人を追い出したいのなら、殺すよりも入国管理局に報告するのが、堂黒会のやり方だという。暴行された外国人は、構成員の上田の手によって解放されたらしい。

海外からの不法労働者がもたらしたものは、秩序の破壊だと言う倉田

上田の首には、何かで絞められたようなキズがあった

解決に向かって

洋子に見とれてる場合じゃないぞ

堂黒会からの回答は、外国人殺人とはまったく無関係だということだった。暗い気持ちで堂黒会を出た熊野は、アルタ前で洋子に出会う。死体の第一発見者、津崎の聞き込みから戻ってきたところらしい。相変わらず美人だ。ワシももう30歳若かったらと、熊野はなかば本気で思うのだった。

熊野は、堂黒会に行ってきたことを洋子に話した。上田の首にクッキリとついていたキズの話をすると、洋子の表情がとたんにけわしくなった。洋子は、身元不明男性の死体発見現場で、ネックレスを拾っていたのだ！

被害者の抵抗までも考えに入れた洋子の洞察力に、熊野も感心するばかり。おかげで、捜査は大きく前進したといえるだろう。事務所に戻り、神宮寺の意見を聞いてみる必要がありそうだ

首飾りと堂黒会の上田

上田の首のキズは、凶行におよんだとき、ネックレスによってついたものではないだろうか？　そんな上田への疑惑を後押しするように、神宮寺が証言した。例のネックレスは、上田がしていたものと同じだというのだ。神宮寺は以前、キマ劇場前で上田を目撃しているのだから、ほぼ間違いない。しかも、暴行された外国人を解放したのは上田だ。それから２日以内に、外国人は殺されている。つまり、外国人の最後の姿を見たのは、おそらく上田なのだ。やはり、上田は怪しい。

熊野は神宮寺と一緒に、再び堂黒会事務所に行くことにした。上田に話を聞くためだ。ふたりは、上田こそがホンボシだと確信していた。

ネックレスのことをネタにおどかせば、上田は必ずゆらぐはずだ。逮捕状が発行されたわけではないので、今すぐ容疑者あつかいすることはできない。しかし、首尾よく重要参考人として連行できれば、必ずシッポを出すに違いない。

解決への糸口は、熊野の話術にかかっていると言っても過言ではなかった。

洋子の報告に耳をかたむける熊野と神宮寺。人も入りこまない所に、なぜこんな物が落ちていたのだろう。

ネックレスを見た神宮寺は、決定的な証言をする。神宮寺の驚異的な記憶力と観察力のたまものだ

熊さん一流の話術がさえる！

上田にネックレスと首のキズについての話を聞くと、かなりの動揺をみせた。精神的には、あまりタフな方ではないらしい。上田は、ネックレスなど持っていないと、全面的に否定した。熊野は、ネックレスに上田のイニシャルが刻まれているのが、何よりの証拠だ！　と、追い打ちをかける。実は、ネックレスにはイニシャルなどなく、熊野もそれを知っていて、ワナをしかけたのだ。上田は、まんまとひっかかり、自分のネックレスにはイニシャルなど入っていない、ともらしてしまう。

上田は重要参考人として、連行された。

みずから墓穴を掘ってしまった上田。熊野のベテランらしい、したたかさが発揮された瞬間だ。その後、上田には正式に逮捕状がとられた。こうして、外国人連続殺人事件は終わりを告げた

COLUMN

世界の名探偵

探偵こそ、ミステリ小説の華

■探偵は美男ぞろい!?

最近話題の名探偵といえば拝み屋探偵、中禅寺秋彦と超能力探偵、榎木津礼二郎だろう。ふたりが登場する京極堂シリーズの著者は、処女作『姑獲鳥の夏』で彗星のごとくデビューした京極夏彦だ。

京極堂こと、中禅寺秋彦の本職は神主&古本屋の主人。芥川龍之介によく似た容貌の持ち主で気むずかしい性格だが、本当は心優しい人物だ。妖怪や日本の寺社にめっぽう詳しく、しゃべりだしたら止まらない。自分から事件に首を突っ込むことはあまりなく、どちらかというと事件に巻き込まれ、やむなく解決するというタイプ。外に出たがらないお座敷探偵だ。

そしてもうひとりは、中禅寺の友人で探偵を生業としている榎木津礼二郎。人の記憶を視ることができる超能力探偵だ。神田に、薔薇十字探偵社という事務所をかまえている。長身で、アメ色の目をした美貌の持ち主、しかも生家は大金持ちだ。しかし、知力、容姿、家柄とも最高なのに、言動は破天荒で非常識。いつでも自信満々で、平気で「僕が神だ！」と言い切ってしまう。オマケに、探偵のクセにまだ犯人をひとりも捕まえていない。それでもなぜか憎めない、得なキャラクターだ。

次に紹介するのは、本職が星占い師という変わり種、御手洗潔だ。だが、本業はあまりかんばしくなく、御手洗の活躍を小説にしてくれる友人、石岡和己のおかげで人間らしい生活をしている。手のつけようがない変人だが、頭脳明晰でバイクやギターの腕は超一流。しかも目を見張るばかりの美男子で、思いやりも深い。

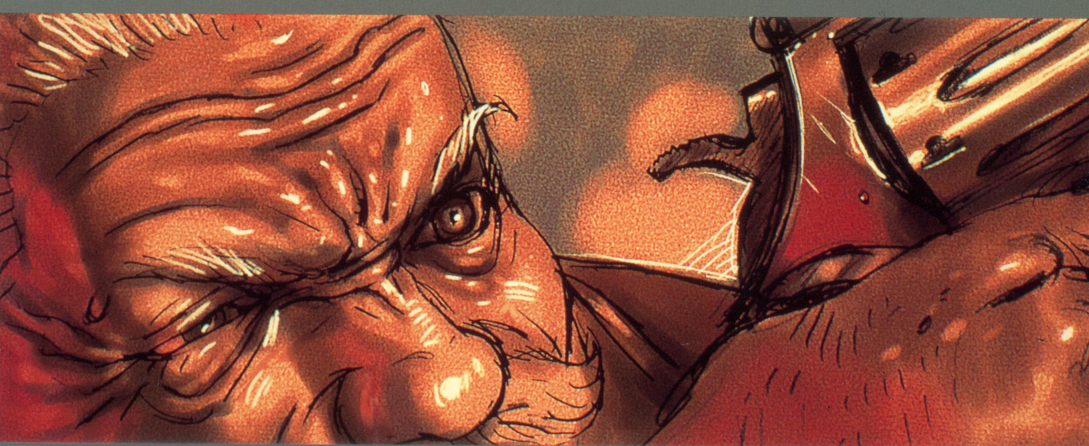
作者は、シャーロキアン（ホームズ愛好家）としても有名な島田荘司。御手洗シリーズの代表作は『占星術殺人事件』『斜め屋敷の犯罪』などだ。

女性読者の絶大な支持を受けているといえば、内田康夫が生んだ浅見光彦をおいてほかにない。91年に『天河伝説殺人事件』が映画化されているので、知っている人も多いだろう。浅見光彦はフリーのルポライターだが、つい事件に首を突っ込んでしまう性格。兄は警察の刑事局長なので、その威光にあずかることも多い。

ハンサムだが、少し気弱でマザコンの気がある。それでも嫌われないのは、素直な性格と、気弱な男性にありがちな濃やかな優しさからだろう。アンチヒーローを描いた探偵小説も多いが、人気探偵の基本はやはり優しさが必須条件なのだ。

そして最後に紹介するのは、『未完のルポ』原作の齋藤氏も推薦の鮫島警部だ。鮫島警部が活躍する『新宿鮫』シリーズは、映画化されたほどの大ヒット作品。著者は大沢在昌だ。

『新宿鮫』こと鮫島警部は、公務員上級試験をクリアした、言わばエリート。あだ名の由来は、鮫のように音もなく近づき、確実に獲物＝犯人をパクるところからきている。新宿を舞台に、ハードなキャラが、ハードに活躍する『新宿鮫』は、『神宮寺』ファンにも歓迎されるだろう。



未完のルポ

外国人連続殺人事件も落着し、本格的に与野に協力することになった神宮寺。池上の遺作『未完のルポ』を調べていくうち、神宮寺たちは事件の背後に謎の組織が暗躍していることを突き止める。果たして、複雑にからみあった謎を解き、池上の仇を討つことができるのか!?

プレイヤー
KYOSUKE YONO

与野恭介

帰国した与野は、池上の死の謎を追っていた。そこで与野は、神宮寺との出会いを果たす。

池上の死の謎を追って

池上の最期の言葉がカギだ!

ムルソンから帰国した与野は、フリージャーナリストとしての立場を捨て、再び創文社に入社した。池上が勤務していた創文社にいれば、何らかの手がかりがつかめるかもしれない。

与野は、池上が死にぎわに残した謎の言葉「丘安組」について調べた。そして、それが上野に事務所を持つヤクザであることを突きとめ、さっそく張り込みを開始した。丘安組は、OWIという輸入関係の会社を経営している。表と裏の顔を使いわけているのだ。与野は、しばらくOWIビルの観察を続けた。

ふと気づくと、与野の姿をみとめた茶色のスーツの男が近よってきた。丘安組の者か……与野は反射的に後ずさった。ここで丘安組に気取られるのは、非常にまずい。男は、与野をどうこうするつもりはない、と言った。どうやら、丘安組の組員ではないようだ。

男は神宮寺三郎と名乗った。職業は私立探偵で、ある事件の調査のため、丘安組を見張っているという。少し安心した与野は、自分の身分と会社名を明かした。神宮寺は、創文社と聞いて池上の名前を出した。どうやら、池上のことを知っているらしい。飲み友だちだという神宮寺に、与野は池上の死を伝えた……。

丘安組の前で張りこむ与野。相手が暴力団と知っても、与野の決意がゆらぐことはなかった

池上との思い出でつながっていた神宮寺と与野。与野にとっては、思いがけない協力者の登場だ

池上の遺品

神宮寺は、池上の死の知らせに驚きとまどいをかくせない様子だった。与野は神宮寺の事務所で、ことのあらましを語った。神宮寺は今、別件の調査で動けないがカタがつき次第、与野に協力すると申し出てくれた。また、神宮寺のもとに届いたエアメイルも見せてもらった。確かに、池上の筆跡だ。ふたりは連絡先を交換し、たがいの仕事に戻った。

池上は、密入国に関するルポを書いていた。創文社の池上の机に、そのルポについての手がかりがあるかもしれない。与野は、創文社に向かった。

池上が勤めていた創文社前。調査の転機を前に、与野は悲しみと決意をあらたにするのだった

「未完のルポ」発見!!

創文社は会社組織でも、仕事は個人でこなさなくてはならない。社員は、たがいにどんな仕事をしているか知らないのだ。

与野はさっそく、池上の机を調べてみた。引き出しには、メンコやベーゴマなど、なつかしいオモチャがしまってあった。池上は与野の息子に、これらの遊び方を教えてやると言っていたのだ。与野の顔は、知らぬ間に涙でぬれていた。池上は、与野の家族にも、ずいぶん良くしてくれたのだ。

さらに調べると、引き出しの奥の方に、フロッピーがはりつけてあった。隠すように置いてあったものだ。何かの手がかりになるかもしれない。与野はフロッピーを持って、神宮寺のもとへ急いだ。

池上の机の上には、スクラップブックが置かれている。現場は納得がいくまで調べろ、それが池上の口ぐせだった

車イスの代議士　五島正一郎

与野が持ち帰ったフロッピーのデータを、洋子がプリントアウトしてくれた。「D：R：五島正一郎」という内容だが、これだけでは何だかよくわからない

与野は、名前が記されている五島に当たることにした。五島は国会議員だ。取材と称して接近することは、決して難しくはなかった。取材理由は、後で何とでもなる。

五島は肝臓の手術の後とかで、車イスに座っていた。国会では「産業廃棄物リサイクル施設増設改善案」を押し進めていたらしい。それ以外は、自慢話ばかりで大した情報を得ることはできなかった。なぜ、池上のルポに五島の名が登場するのか。与野は、もう一度五島に会うような気がした。

尊大な態度の五島。県会議員時代から黒いウワサが絶えない男だったが、疑惑の渦中には姿を見せないタヌキだ

プレイヤー
SABURO JINGUJI

神宮寺三郎

密入国と前原の関係について情報を得た神宮寺。前原たちが外国人を働かせていた工場は、おどろくべき環境だった！

産廃施設の謎

密入国と丘安組

池上の机を調べに、創文社に行った与野が戻ってきた。与野は、引き出しの奥にはりつけてあったというフロッピーを見つけてきた。外国人連続殺人事件が落着した神宮寺は、完全に与野の調査に協力できる態勢を整えていた。

記録されていた内容は、丘安組が密入国によって得る利益に関してだった。丘安組は外国人を密入国させ、その外国人から金をとっていた。しかし、密入国がはらむ危険や費用を考えると、丘安組が背負うリスクはあまりにも大きい。ほかの線も調査する必要がある、というものだ。そして、ひときわ神宮寺たちの頭を悩ませたのは「D：R：五島正一郎」という記述だった。「D」と「R」の意味がわからない。池上のルポを完成させれば、おのずとわかることではあるが……。

何はともあれ、丘安組の足どりを追う必要はありそうだ。神宮寺は丘安組の、前原貴史のセンで調べてみることにした。豪造親分が、かなりヤバいヤツだと言っていた人物だ。入国のとき、直接前原と接触があった、朝日興業のヤンなら、何か知っているはずだ。

与野はその間、五島の身辺を洗うつもりらしい。ふたりは、たがいの仕事が終わり次第、合流して丘安組を調べる約束をした。

池上は、かなり突っこんだところまで取材を進めていたようだ。「D」と「R」は一体何を意味するのか？

それぞれの調査が終わり次第、一緒に丘安組を追うことにした。密入国と池上の死をつなぐのは、丘安組しかない

密入国を手引きしていたのは前原!!

前原と密入国の関係を調べることにした神宮寺は、朝日興業を訪れた。ここで働いているヤンなら、何か知っているはずだ。

今日は朝日興業は休みのようだ。社長にヤンの住所をたずねると、少し考えてから教えてくれた。社長は、そっとしておいてやりたいらしい。

ヤンは第二松崎荘というアパートに住んでいた。ヤンは、ふたりの仲間と一緒に狭い部屋に同居していた。ひとりは具合が悪いらしく、しきりにセキこんでいて話を聞くのは無理そうだ。もうひとりは、日本語があまりできないらしい。直接会話することはできないだろう。

前原は職がない外国人に、給料のいい働き口を紹介してやっているという。会社名はわからないが、大きな工場らしい。2週間交代で働く工場で、体調の悪い男に代わり、もうひとりの男が現場入りする。一体、どんな仕事をさせているのだろう？　神宮寺は、ソラダと身元不明の男の写真を見せた。日本語がしゃべれない男が、早口で何かまくしたてた。同じ船で来た仲間だという。これで、ふたりがムルソン人ということがハッキリした。それにしても、男の体調が気になる。前原は日本に来る前、ヘルスチェックをしてくれたというが……。

ガンコだがめんどう見のいい、朝日興業の社長。神宮寺のことを信用しているようだ

朝日興業からほど近い第二松崎荘。今にもつぶれてしまいそうなアパートだ。その203号室にヤンが住んでいる

神宮寺は帰りぎわ、ヤンたちに情報料として5000円を渡した。同情ではなく正当な報酬としてだ

バスのなかは外国人がみっしり

神宮寺は、与野から五島に関する報告を聞いた。療養中の国会議員で、今は車イスを使用しているらしい。神宮寺は与野と合流し、OWIビル前で張りこみをはじめた。

張りこみ2日目、1台のマイクロバスが、ビルの前に停まった。なかには、20人ほどの外国人が乗っている。

ヤクザが密入国させた外国人たちを、一体どこで働かせようというのか？　神宮寺たちは、バスの後をつけることにした。

張りこみを始めてはや2日。交代で仮眠をとりながらという、徹底したものだ

バスを見失ってしまった!?

神宮寺と与野は、少しの距離を置きながらバスを尾行した。バスはたまにサービスエリアで休憩する程度で、出発してからずっと走りっぱなしだった。

そして、神宮寺たちは三叉路でバスを見失ってしまう。距離を置いていたのが、アダになってしまったのだ。山道に続く道、道なりの道、一体バスはどちらへ進んだのだろうか。

道なりに進むと、温泉街に出る。山道に進めば、当然人気は少なくなってくる。確率が高いのはどっちだ?

坂井秀子との再会

一体どこまで、走ってきたのだろう。ふたりは、道を聞こうと1軒の民家をたずねた。そこでふたりを出むかえたのは、なんと坂井秀子だった。疲れ切ったふたりに、坂井は食事と一夜の宿を提供してくれた。

神宮寺たちが訪ねた民家は、偶然にも坂井秀子の家だった。坂井はふたりを暖かくむかえてくれた

坂井の話によると、ここからしばらく行った所に、産業廃棄物処理施設があるという。坂井公一はここで働いていたとき、管理区域にたくさん外国人がいる、ともらしていたらしい! 丘安組のバスは、産廃施設に向かったに違いない。

しかも、産廃施設を誘致したのは、五島だというのだ。五島を、徹底的に調査する必要がありそうだ。

五島は、ヤクザともつきあいがあったらしい。そのヤクザは、もしかして丘安組かもしれない!?

観光客を装って……

すっかり元気を取り戻した神宮寺と与野は、朝早く坂井の家をあとにした。目指すは、産廃施設だ。しかし、そう簡単に中を見せてもらえるだろうか……。

出入り口には、人がよさそうな初老の男性が警備にあたっていた。与野は何も知らない観光客を装い、敷地内を見学させてほしいと、警備員にたのんだ。神宮寺は、与野の話術に舌を巻くばかりだった。

こんな好人物をだますことになるのかと思うと、ふたりは心が痛んだ

産廃施設は明らかに違法だ!!

警備員はこころよく、ふたりを案内してくれた。敷地内には悪臭がたちこめている。与野は、この臭いに覚えがあった。そう、レムチャの工場排水に似ているのだ！

埋め立て処理場の土は腐ったような、異様な色に変わっていた

警備員も、病人の続出には疑問を持っていた

埋め立て処理場は、さらにひどい臭いだった。ここで働いていた何人かが病気になったという。気になった神宮寺は、その土をサンプルとして持ち帰ることにした。また、２階建てのプレハブ小屋には、外国人がたくさんいるという。

外国人たちは、人材派遣会社から一気に来るらしい

産廃施設で働いている外国人は、みんな疲れているようだ

産廃施設をあとにするふたり。疲れてはいたが、大きな達成感があった

熊さんの呼び出し

産廃施設では、神宮寺たちは思った以上の成果を得ることができた。あれは、シロウトの神宮寺たちから見ても、明らかに違法だった。しかも、丘安組は密入国させた外国人をこの劣悪な環境のなかで働かせていたのだ。幸い、証拠となる埋め立て処理場の土壌を持ち帰ることができた。検査を依頼するアテはある。

与野と別れ、事務所で休む神宮寺のもとに、熊野がやってきた。困惑した顔で、自分についてきてほしいという。神宮寺は、熊野の表情に不安を覚えながら、ついて行くことにした。

熊野は淀橋署の前まで来ると、ムルソン人の知り合いはいないかとたずねた。何でも、上野のアパートで死人がでたらしい。その同居人が、朝日興業のヤン・ラウグロだったのだ。

突然事務所にあらわれた熊野。熊野がこういう顔をするときは、あまりいい知らせではないのだ

ヤンの死んだ同居人とは、あのときの病気の男だろうか……？　一体、ヤンはどうなってしまうのだろう

ヤン、本国へ強制送還……

熊野は、ヤンの所持品から神宮寺の連絡先が見つかり、おどろいて知らせに来てくれたのだ。

ヤンは不法入国の身だ。仲間が病死しても、警察はおろか、病院に行くこともできない。しかし、死体をそのまま放置しておくのは罪になる。結局、異臭に気づいたアパートの住人が警察に通報し、発覚したのだった。

日本は冷たい国だ、もう国に帰りたいと訴えるヤン。日本は、外国人に対して厳しすぎるのか……

神宮寺は熊野に続いて、取調室に足を踏み入れた。ヤンはおびえていた。見知らぬ異国の、しかも重苦しい警察の取調室なのだ。

ヤンは、ことのなりゆきをポツリポツリと語りだした。死んだ仲間は、国ではとても健康な男だった。最初はただの風邪かと思っていたが、彼は一向に良くならなかった。ヤンは、前原から紹介されたあの工場が、仲間を殺したのだと主張しているが、警察は信じようとはしなかった。

ヤンは、本国に強制送還されるだろう。神宮寺と熊野は、ただ黙ってヤンを見つめるしかなかった。

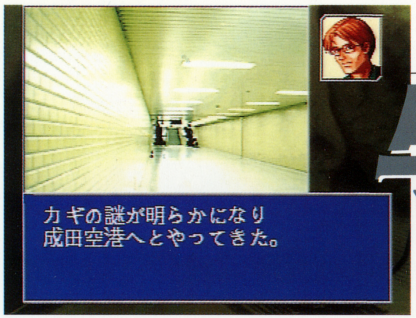
不運にさらされるヤンに、神宮寺は何もしてやることができなかった。やりきれない思いが、心に重くのしかかった

連行されるヤンを見送る熊野と神宮寺。人情家の熊野も沈痛な面もちだ

ハードボイルドと社会派ミステリ

バーボンと重い煙草が、ハードボイルドの必須アイテムだ!?

ハードボイルド、という言葉が似合う男は、そうザラにはいないだろう。神宮寺は、そんな数少ない男のひとりだ。ハードボイルドとは本来、肉体、精神とも屈強な男の人生観を通して語られる物語のこと。そして、個人よりも社会全体や企業の悪徳などが語られる小説を社会派ミステリという。『未完のルポ』は、その両方の側面を持つゲームといえるだろう。



プレイヤー
KYOSUKE YONO

与野恭介

鑑識の結果、池上のカギは成田空港のロッカーのものだと判明した。与野は新たな展開を予感しつつ、空港へと向かった。

池上が神宮寺に託したもの

成田空港のロッカー

池上が神宮寺に預けたカギは、成田空港のロッカーのものだった。与野はカギの謎を解くべく、さっそく成田空港へと向かった。池上が、無関係の神宮寺に託してまで守りたかった物とは、一体何だったのか？それを入手することができれば、調査は大きく前進するだろう。

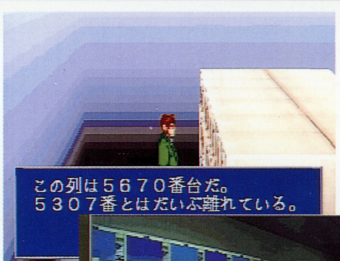
与野は、はやる気持ちをおさえて、空港の人混みに踏み出した。

創文社で発見されたフロッピーより、さらに厳重にかくされた物だ。よほど重要な物に違いない

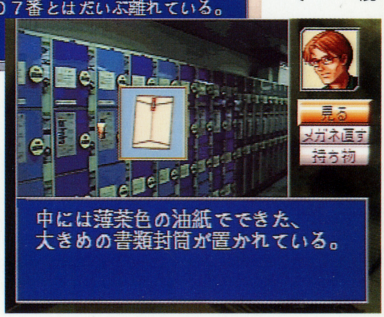
ロッカーを探せ!

与野はインフォメーションでロッカーの場所を聞き、教えられた場所へ行ってみた。ナンバーは、5307番。ロッカールームは広く、この中からカギのナンバーを探すのは骨が折れた。ときおりナンバーを確認しながら、ようやく目的のロッカーを見つけることができた。

引き取り期限がとっくに過ぎていているので、開けるのにコインを投入しなければならなかった。中に納められていたのは、うす茶色の油紙でできた、大判の書類封筒だった。ここで開けるのはまずい。中身をあらためるのは、神宮寺と一緒のときの方がいいだろう。与野は期待に胸をふくらませ、神宮寺事務所へと向かった。



やたらと広いうえに、混雑している成田空港。へたにウロウロするより、誰かに聞いた方がよさそうだ



ロッカーから発見された書類封筒。調査の手がかりになることは間違いない

プレイヤー
SABURO JINGUJI

神宮寺三郎

池上は密入国と臓器移植、ふたつのルポを同時にてがけていた。神宮寺たちは、記録されていた３つの病院を調べることにした。

臓器移植と3つの病院

もうひとつのルポ

与野が成田空港から持ち帰った物は、池上のもうひとつのルポだった。タイトルは『隠された臓器売買の実態』。内容は、臓器売買に関する倫理的な問題提起だった。貧しい国で貧困にあえぐ人々の間では、自分の内臓を切り売りして、生活の糧を得るというケースも決して少なくないのだ。

また、司大学付属病院、国立臓器移植研究所、東亜総合病院と、３つの病院の名も記されていた。臓器移植を行なっている病院なのだろうか。

与野は第２のルポ発見に、うれしさと同時にとまどいも覚えていた。池上は、１本のルポを集中して書き上げるタイプだった。それが２本同時進行とは、いささか不自然だ。この２本のルポ、密入国と臓器売買には、何らかの関連性があるのだろうか？

与野は、池上の未完のルポを完成させる決意をした。それが、池上への何よりの供養になると考えたからだ。

池上が、この３つの病院について調べていたことは明らかだ。神宮寺は国立臓器移植研究所、与野は東亜総合病院、熊野は司大学付属病院を手分けして当たることにした。これら３つの病院を調べたうえで報告しあい、検討すれば、池上の狙いがわかるかもしれない。調査は、新しい方向に向かって動きだした。

第２のルポに読みふける与野。池上らしい、シッカリとした構成で書かれている

ヒマをもてあましていた熊野が、応援してくれることになった。今度こそ、借りを返すチャンス!?

研究員・今倉を攻略だ!

神宮寺は、国立臓器移植研究所を訪れた。こざっぱりとした雰囲気の病院だ。受付で用件を伝えると、研究者の今倉という若者が応対に出た。神経質そうな男で、神宮寺に対して、あからさまな反感を示していた。

探偵という身分は、みだりに明かすものではない。神宮寺は、記者を名乗って話を聞くことにした。調査にあたって、医学的知識が必要になることもあるだろう。ところが今倉は、どうしても気乗りしないらしい。ここで身分を偽っても、しかたがない。神宮寺は、私立探偵であることを正直に告げた。とたんに、今倉の顔がパッと明るくなった。今倉は、推理小説マニアだったのだ。

そっけない態度の今倉。学者肌の今倉には、来客の応対などめんどうなだけなのだ。警戒を解くことができればいいのだが

今倉は推理小説が好きで、探偵にあこがれていた。純粋で、子どもっぽい一面もあるのだ

臓器移植と人間の尊厳

今倉は、理由も聞かずに聞き込みに協力してくれた。日本で行なわれている臓器移植のうち、もっとも一般的なのは腎臓移植や肝臓移植だという。しかし、患者に適合する臓器を見つけることは難しい。希望者すべてが、移植手術を受けられるとは限らないのだ。また臓器移植が、果たして人間に許される行為なのかという、倫理的問題もある。日本での移植手術は、とても困難なものなのだ。最近、司大学付属病院も移植から手をひいたらしい。

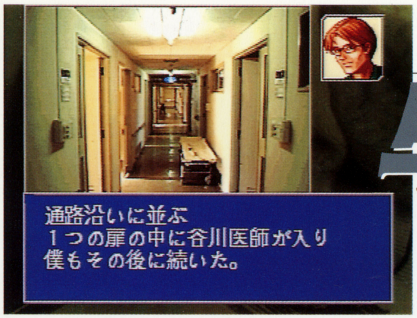
臓器移植について、親切に教えてくれる今倉。今後とも協力してくれるようだ

司大学付属病院は倫理的問題を考慮し、臓器移植から手を引いたらしい

もっと制度が整っていれば、移植も簡単なものになるだろう

臓器移植の問題

今倉が語ったように、移植には臓器の鮮度が大切だ。多くの場合は、亡くなった人から臓器を摘出して患者に移植する。しかし、それには脳死の問題がある。脳死をもって臨終とするか、心臓の停止をもって死亡とするか。まだ生きている人間から、ひとつしかない臓器を摘出するわけにはいかない。臓器移植は、デリケートな問題を数多くふくんでいるのだ。



プレイヤー
KYOSUKE YONO

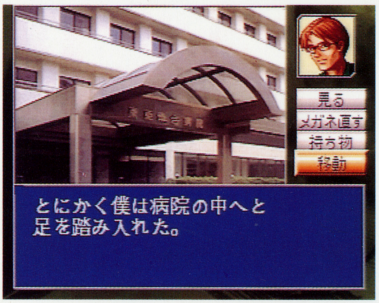
与野恭介

東亜総合病院にやって来た与野。病院全体の冷たい雰囲気に、与野は違和感をおぼえるのだった。

どこか冷たい、東亜総合病院

日本随一の病院

与野は池上の足どりを追って、東亜総合病院に来ていた。実用性を重視した近未来的なデザインの建物は、国立臓器移植研究所とは対照的だ。受付の、美人だが冷たい感じの女性に用件を伝えた。すぐに担当者を呼ぶ、と無機質な声で応えが返ってきた。待合室は患者どうしの雑談もなく、静まりかえっている。与野は何となく、いごこちの悪さを感じ始めていた。



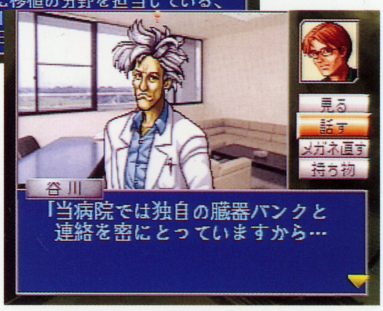
ウォーターフロントに建つ東亜総合病院。設備は文句なく立派だが、心が通っていないという感じだ

池上も取材に来ていた

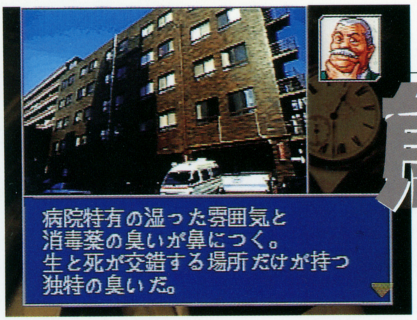
やっと現れた担当者は、副院長で主に移植を手がけている、谷川という医師だった。骨に皮を張ったようなやせこけた男で、ボサボサした髪と白衣が、よくマンガに登場するマッドサイエンティストを思わせた。

用件を伝えると、谷川は与野を応接室に案内した。この病院の医療設備がタダ物ではないことが、シロウトの与野にもわかった。しかし移植のときに必要な臓器は、一体どこから調達しているのだろう？　与野は単刀直入に聞いてみた。東亜総合病院では、臓器バンクと密に連絡をとっているため、安定した供給が得られるらしい。そして谷川は、池上という記者が同じ用件で訪れたことがあるともらした。

与野は、取材と偽って谷川に面会することができた。応接室は、大企業の重役室のような豪華さだ



最高の技術者でありたいという谷川。そのロぶりに与野は不愉快になった



プレイヤー
SANZO KUMANO

熊野参造

大はりきりで、司大学付属病院に聞き込みに行った熊野。果たして、その道30年のカンは働くのか!?

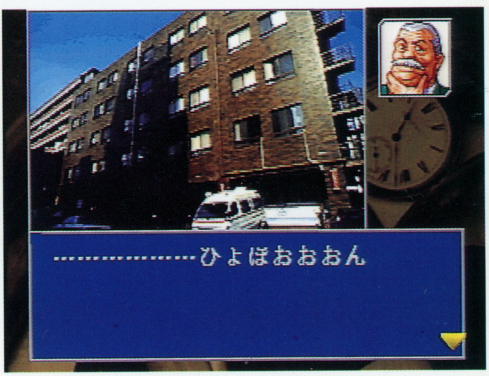
移植から手を引いた病院

熊さん大活躍!?

神宮寺たちに協力すべく、司大学付属病院を訪れた熊野。はりきってやって来た熊野だが、病院では半年前に移植手術から手を引いたという情報しか得られなかった。

今回は刑事の直感がまるで働かない。もしかして、神宮寺はオイシイところを独り占めしたいばかりに、実りのない聞き込みには、粘りが大切！しかし、わかったのは病院は移植を断念し、患者は他の病院に移されたことだけだ

司大学付属病院を自分に押しつけたのではないか……そんな疑念すら、熊野の頭をよぎった。やはり、行きたい病院は自分で選んでおくべきだった。熊野は、今度こそ神宮寺の役に立つと誓い、病院を後にした。



今度こそ、神宮寺に借りを返す！「ひょほおおおん」は熊野の心の叫びなのだ！

肺の汚れぐあいで、どのくらい東京にいたのかもわかるという

犯罪捜査に貢献する医学

犯罪捜査に医学は欠かせない分野だ。特に死亡推定時刻や、死因などは大きな手がかりになる。死亡推定時刻を比較的簡単に割り出す方法、それは死斑だ。死斑とは、死後２～３時間で肌に現れる紫色の斑点のこと。流れなくなった血液が皮膚の方にさがってくるのだ。仰向けに倒れれば背中に出るというわけだ。血液は10時間ほどで固まり、死斑も動かなくなる。

プレイヤー
SABURO JINGUJI

神宮寺三郎

丘安組が、神宮寺たちに感づき始めた。今倉は、見せしめのために殺されたのか!?それでも、神宮寺たちの捜査は続く。

東亜総合病院への疑惑

明治組のバックアップ

神宮寺に、関東明治組の豪造親分から会って話をしたいという伝言が届いた。

神宮寺は、豪造を待つ間、組員の今泉と雑談していた。今泉の話では、また不法就労の外国人が殺されたという。被害者はムルソン人で、内臓をえぐられていたらしい。

豪造親分がやって来た。グラス密売は丘安組のしわざだったらしく、豪造親分は怒りに燃えていた。明治組でヤクは御法度、ケンカを売っているようなものだ。豪造は、丘安組が神宮寺たちを狙ってくるとにらんで、ボディガードをつけると申し出た。

被害者は「K」の店員。借金もなく、殺される理由はない。殺される数日前に、ヤクザがもうけ話を持ちかけていた

外国人連続殺人事件はふりだし

神宮寺は、その足で淀橋署の熊野を訪ねた。熊野は、司大学付属病院で得た情報を神宮寺に伝えた。司大学付属病院は、半年前に移植から手を引いたということだった。

神宮寺は、明治組で今泉から聞いた外国人連続殺人の４人目の犠牲者の話をきり出した。上田が自供したのは、キマ劇場前で暴行した男を殺害したということだけだという。今後は、愉快犯にマトをしぼって捜査するらしい。外国人連続殺人は、完全にふりだしに戻ってしまった。神宮寺は、何かがひっかかっていた。

熊野もいそがしくなりそうだ。あまり、与野の調査には参加できないだろう

与野の報告

淀橋署から戻った神宮寺を、与野が待っていた。東亜総合病院では、移植に関する実績以外、大した情報は得られなかったらしい。今倉の話では、３つの病院の共通点は臓器移植で、現在行なっているのは東亜総合病院だけだという。これからの調査ポイントは、もう一度これらの病院を洗うこと。そして、東亜で手術を受けたという五島を当たってみる必要がありそうだ。

神宮寺は病院、与野は五島を調査することに。五島と関係があるヤクザが丘安組なら、産廃施設のことも納得だ

今倉の依頼

事務所の電話が突然鳴り、今倉が面会を求めてきた。

今倉は何と、神宮寺に仕事の依頼をしたいという。今受けることはできないが、話だけでも聞くことにした。最近、移植が必要な患者が「いくら払えば、手術してもらえるんだ?」と、おかしなことを言ったという。手術には多額の金がかかるが、金があっても相性のあう臓器が見つからなくては、手術はできない。その患者は、東亜でヤクザ風の男から「金さえ払えば、すぐにでも手術を受けられる病院を紹介する」と吹きこまれたらしい。不正な臓器移植手術が行なわれているのだろうか。そして神宮寺は、今倉から貴重な情報を得た。今倉は、□はドナー（臓器提供者）、Ｒはレシピエント（移植患者）のことだと教えてくれた。

不正移植手術のせいで、一般の患者が泣きをみることが今倉には許せないのだ。プライドをもって仕事に取り組む、今倉の意外な一面だ

今倉の依頼は今、神宮寺が調査していることと何らかのつながりがあるかもしれない。今倉は、神宮寺をたよりにしているようだ

東亜の院長はタダ者じゃない!!

今倉は、東亜総合病院の谷川医師はヤクザとつきあいがあるらしい、と言っていた。もう一度、調べてみる必要がある。神宮寺は谷川に、ヤクザとの関わりを率直にたずねた。谷川は研究資金を融資してもらっているだけだと答えたが、明らかに動揺している。そこに、院長の板垣が現れた。谷川を黙らせるだけの威厳を持った男だ。もうこれ以上は情報を引き出せそうにない。

事件と病院の関係を否定するため、板垣は協力を申し出た。神宮寺は、板垣の度量の大きさにおどろく

谷川と丘安組の関係

神宮寺は与野たちを呼び出し、捜査状況を報告した。Dと月の意味が判明したこと、東亜総合病院の不正手術疑惑や谷川とヤクザの関係などだ。五島は移植患者として、名前が記録されていたのだ。池上のルポには、両方ともヤクザが関わっていることがわかった。的は東亜総合病院にしぼられた。

豪造親分の言葉が気になった神宮寺は与野に、早く家族を隠すように言った。単独行動も避けた方がいい

衝撃! 今倉の死

夜、バーボンを片手に物思いにふける神宮寺のもとに、熊野から電話があった。今倉和也が、交通事故で死んだというのだ！　神宮寺は淀橋署にかけつけた。しかし、署内に入るのはためらわれた。今倉の死が、今回の調査に関係あるとすれば、自分が今倉を間接的に殺したことになるのではないか？神宮寺は意外なほどショックをうけている自分に気がついた。あの憎めないところが気に入っていたのだ。

夜の歌舞伎町にたたずみ、神宮寺は生前の今倉を思いだしていた

神宮寺は、言葉もなく今倉を見つめた。今倉はもうすぐ、家族と無言の対面を果たす……

霊安室には、今倉が変わり果てた姿で横たわっていた。眠っているような細面に、青白い死が浮かんでいた。遺留品はカメラにテープレコーダー、そして吸えもしないであろう煙草など、探偵の必需品がいろいろとあった。煙草は、神宮寺と同じ銘柄のものだった。

テープレコーダーは、今倉の最期の言葉を録音していた。「手術をもちかけた」「東亜に」という手がかりを残し、今倉はこときれた。

調査に関わったばかりに、今倉は殺されたのだろうか？　神宮寺は自分を責めた

「神宮寺さんにはなれなかった……」。今倉の最期の言葉は、あまりにも悲しい

迫りくる丘安の魔の手

与野の家族も危ない!

今倉の死は、神宮寺だけでなく洋子や与野にも大きなショックを与えた。神宮寺は丘安組がつけ狙っているという、豪造親分の言葉を思い出して戦慄した。

神宮寺と与野は今倉が残してくれた手がかりをもとに、東亜総合病院を当たることにした。密入国と臓器移植をつなぐのは、東亜と丘安組だ。神宮寺は、必ず今倉の仇を討つと心に誓った。

与野は、いつか今倉に会いたいと言っていた。しかし、それは永遠にかなわなくなってしまった

今倉の仇うち

神宮寺と与野は、東亜総合病院に来ていた。目的は、東亜が本当に不正移植に関係しているのかということと、丘安組との関連を調べることだ。

しかし神宮寺は、与野を連れて来たことを後悔していた。何の関係もない与野の家族が、今倉のように巻きぞえになる可能性もある。神宮寺の言い分に納得した与野は、五島をあたってみると言って帰っていった。

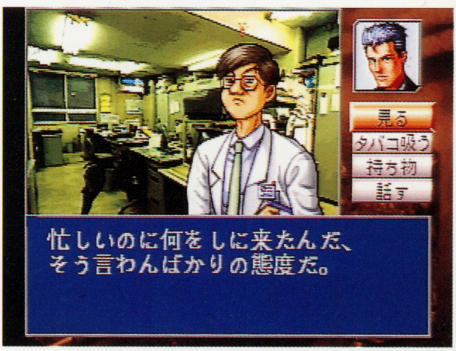
家族がいる与野は、守りを固めてから行動した方がいいだろう。それでも与野は、五島は自分が調べると申し出た

五島のカルテを探せ!

神宮寺は、過去3ヵ月分のカルテを調べるつもりだった。もしドナーに密入国者の名前があったり、レシピエントに丘安組関係者の名前が記録されていたら、それは大きな手がかりになる。

受付の女性に用件を伝えると、すぐに板垣を呼び出してくれた。板垣は、カルテの閲覧を、こころよく承知してくれた。

神宮寺は受付で医局の場所を聞き、記録課に向かった。記録課は、患者のカルテや手術記録を管理している。ドアをくぐると、ファイルケースがズラリとならんだ部屋の奥から、斎藤と名乗る男が現れた。いそがしいのに何をしに来たんだと言わんばかりの、トゲトゲしい態度だ。外科手術全般のカルテは、FとGの棚にあるという。



目つきの悪い男、斎藤。どうしてこの病院は、こんなヤツばかりなのか

アルファベットがバラバラ!?

外科手術全般のカルテを調べれば、移植に関する記録もわかるというものだ。記録課の斎藤はFとGの棚を探し、見つかったら呼んでくれと言って、自分の仕事に戻っていった。さっそく探しにかかる神宮寺だが、アルファベットが順番にならんでいないのだ！

職員たちはみないそがしそうで、誰ひとりとして座っている者はいない。それでも、聞けばおおよその位置は教えてもらえるだろう。ひとつひとつの棚を、ていねいに探していくしかないだろう。

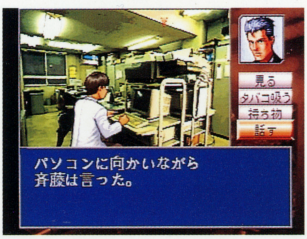
尾行・調査画面でFとGの棚を探す。目的の棚は、ドアから一番遠いところにある

記録課、斎藤はけっこうイイ奴だ!

神宮寺はやっとFとGの棚を見つけることができた。中から五島のカルテを見つけ出すと、その手術日を手帳にメモした。

神宮寺は斎藤を呼び、いくつか質問してみることにした。外来患者の診察は終わったらしく、斎藤からも、余裕の表情がうかがえた。まず、カルテを管理しているのは院長や副院長だが、実際は記録課だという。手術記録は執刀医が管理するが、最後はやはり記録課だという。よほどのことがない限り、執刀医が管理することはないという。ほかにも手術室のスケジュールや、薬品、機材の管理もやっているらしい。

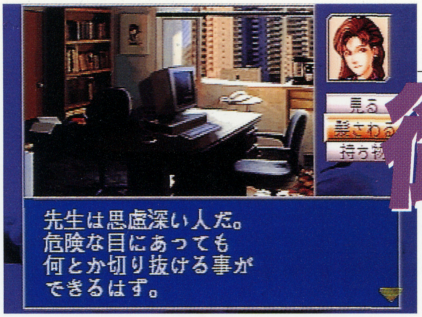
神宮寺が、五島の手術室使用のスケジュールをたずねると、斎藤がパソコンで調べてくれた。この日のスケジュールは、執刀医の谷川自身が決めている。まれなケースだが、急患やＶＩＰの手術の場合にはあることらしい。ほかにも谷川は三紅の御曹子、鶴巻英樹の手術も執刀している。また、谷川がヤクザとつきあいがあることは、本当らしい。研究費を工面するため、ヤクザに借金をしたのだ。



パソコンに向かいながら、斎藤は非礼をわびた。いそがしさでイライラしていただけで、実はイイ奴なのだ。質問すれば、いろいろ教えてくれる

外国人が殺された日と、谷川が手術を執刀した日は妙に一致する。何か関係があるのだろうか

谷川のところに借金を取り立てに来ていたヤクザは、先月の終わり頃からパッタリとこなくなったという



プレイヤー
YOKO MISONO

御苑洋子

今倉の死にショックを受ける神宮寺を、ひたすら気づかう洋子。しかし、その洋子にも、丘安組の魔の手がのびる!!

洋子、危機一髪!!

明治組の豪造親分が、ボディガードとして今泉をよこしてくれた。神宮寺は、危険な調査を一手に引き受け、洋子は事務所に待機させていた。神宮寺にとっても、今泉が事務所に出入りしてくれれば、こんなに心強いことはないだろう。

今泉は礼儀正しく話題も豊富な男で、留守番の洋子を退屈させなかった。洋子は、なぜ今泉のような人物がヤクザなのか不思議に思った。洋子は、今泉から丘安組のことをいろいろと聞いてみた。人身売買や麻薬密売など、金になることならどんなことでもしでかす、危険な組織らしい。洋子は、神宮寺の身を案じた。

と、そのとき、窓の外で銃声がとどろき、一発の凶弾が発射された!!

とっさに身をかがめ、今泉は洋子をかばうが……!

洋子をかばった今泉は、肩に負傷してしまう。幸い、洋子にケガはなかったが、ショックが大きいようだ

関東明治組の今泉が、応援にかけつけてくれた。たのもしい味方の登場だ

今泉という男

語尾にカタカナをつけてしゃべるのがクセらしい

フルネームは今泉直久。新宿一帯にシマを持つ、関東明治組の組員だ。親分、風林豪造の懐刀と呼ばれ、組内部でもその影響力は大きい。神宮寺も、絶大な信頼をよせている。

性格は礼儀正しく義理人情を重んじるタイプ。それは、体をはって洋子を守り抜いたことからもうかがえる。そんな今泉の一人称は「アタシ」。タフな男の意外な一面だ。

プレイヤー
SABURO JINGUJI

神宮寺三郎

丘安組のしつような攻撃は続く。洋子が、与野の家族が、次々とキズつけられていく。どうする、神宮寺!?

丘安組の卑劣な手段

東亜総合病院の斎藤から貴重な情報を得た神宮寺は、足どりも軽く事務所に戻ってきた。この成果を早く誰かに話したかった。

外からふと、事務所の窓を見あげると、ガラスにヒビがはいっている。あれは、銃痕!? もしや、洋子の身になにか……神宮寺は背中に冷たい汗を感じながら、事務所の階段をかけあがった。

事務所には、熊野を始めとする淀橋署の面々が、部屋中を検分していた。幸い洋子にはケガはなかったが、神宮寺が受けた衝撃は大きかった。洋子をかばった今泉は肩を負傷し、歩いて行きつけの病院へ行ったらしい。ふつうの病院ではマズイのだろう。やはり、丘安組のしわざなのだろうか。

窓には、弾痕が生々しく残っている。よく見ると、鑑識の三好も来ている。やっぱり熊さん人形を持っている

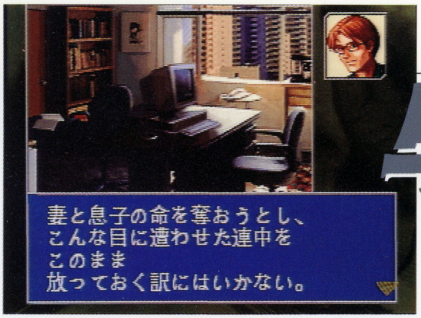
警察でごったがえす事務所に、与野がやって来た。与野の家が火事になったというのだ!

与野の家族は重体

しかし、丘安組は攻撃の手をゆるめることはなかった。与野の家が火事になり、家族が病院に収容されたという。青い顔をした与野が事務所にやって来て、神宮寺に報告した。これから病院にいくつもりらしい。

与野の家族は重体だった。妻の雪枝は意識を回復し、危機は脱したようだった。しかし、息子の守は一酸化炭素中毒がひどく、いまだに危険な状態だ。守の小さな体には、あちこちに白い包帯が巻かれていた。家族の痛々しい姿を前に、与野はある決意を固めるのだった。

出火原因は、放火の疑いもあるらしい。与野は、家族の命を奪おうとした奴らに復讐を誓った



プレイヤー
KYOSUKE YONO

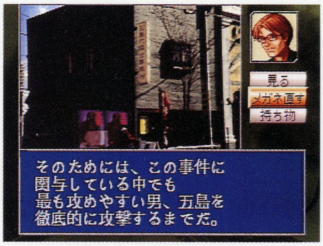
与野恭介

家族の命が狙われ、完全に冷静さを失った与野。その先走った行動が、思わぬ展開を呼んでしまう！

五島を脅迫しろ!

与野は怒りにまかせ、五島の事務所におしかけた。ヤバい秘密を知っていると脅迫すると、顔面蒼白の五島は、丘安との関係を話し始めた。

知り合った当時、五島は丘安仁がヤクザだとは知らなかった。貿易会社社長と名乗った丘安は、自社の便宜をはかってくれたら、謝礼をやると言ったらしい。そして五島が肝硬変になったとき、丘安はどこからか五島にあう臓器を調達してきた。五島は、丘安が臓器不正取り引きをしていると知った。



五島を攻撃すれば、ことの真相がハッキリするかもしれない

臓器の出所を知ってしまった五島は、丘安のいいなりになるしかなかった

五島の裏切り!?

その後丘安は、五島にムルソンからの臓器密輸に手を貸せと言ってきた。秘密を知ってしまった五島は、丘安に協力せざるえなくなってしまった。与野は、３日以内に事件の証拠品を渡せとおどした。３日後、連絡を受けた与野は五島の事務所を訪ねた。部屋のドアを開けると、暗い部屋から突然、五島が襲いかかってきた！瞬間、与野は頭に衝撃を感じ、その場で気を失ってしまった。

創文社で、五島からの連絡を待つ与野。もし連絡がなければ、すべてを公表し、五島の政治生命を断つばかりだ

ぬうと立ち上がり、与野を襲撃する五島。五島は車イスを使っていたはずだが……

プレイヤー
SABURO JINGUJI

神宮寺三郎

神宮寺はついに、敵の本拠地OWIビルに潜入することを決意する。そこで見た物は、丘安のおどろくべき悪事の記録だった！

敵の牙城へ潜入！

丘安ビルを偵察だ

丘安組の強襲に、神宮寺は敵の牙城に乗り込むことにした。丘安組を壊滅させることができるような材料を探し出すためだ。

神宮寺が、OWIビル前に着いたのは夜中だった。当然、正面玄関のカギが開いているわけもない。豪華で、最新のデザインを施したビルだ。防犯システムも充実しているのだろう。このビルの侵入経路は、あまり多くないと考えた方がいい。

神宮寺はビルの裏手に回ってみた。ある物といえば、エアコンの室外機くらいだ。正面から観察するしかなさそうだ。

丘安ビル裏手。室外機が動いているということは、なかに人がいるということ!?

侵入経路を確保

OWIビルの隣には、寄り添うようにして同じくらいの高さの雑居ビルが建っている。雑居ビルは、入居している会社はそれぞれ施錠しているが、ビル自体の出入り口はたいてい開けっぱなしだ。あの雑居ビルの屋上に上がり、OWIビルに飛び移ることはできないだろうか。

雑居ビルなら部外者が出入りしても怪しまれることはない。ビルの出入り口にはやはりカギはかかっていなかった。屋上まで、出入りは自由なようだ。

屋上はガラクタだらけだが、よく探すとこんな物が見つかる

板を留めていた針金。ドロボウの七つ道具にも数えられている

針金の使い方

雑居ビルとOWIビルの屋上の間は、思ったよりも距離があった。助走なしで飛び移れる距離ではない。神宮寺は2メートルほどの板と針金で、即席の橋を作った。針金は役立つことが多いので、持っていくことにした。無事に移った神宮寺だが、ビル内に続くドアにカギがかかっている。ノブにカギ穴がついているタイプだ。さっそく、針金が役に立つときが来たようだ。

探偵という職業柄、針金でカギを開けることができる神宮寺。前にもやったことがある!?

応接室

神宮寺は階段を降りて、事務所や応接室がある3階にやってきた。

応接室は少し成金趣味ではあったが、一般的な会社とあまり変わらず、不審な点は見当たらなかった。

出入り口以外にも、もうひとつ扉がついている。どうやら、社長室に通じているらしい。必要に応じて出入りできるようになっているのだ。

豪華だが、あまり統一がとれていない応接室。本の中まで調べるが、怪しいところはない

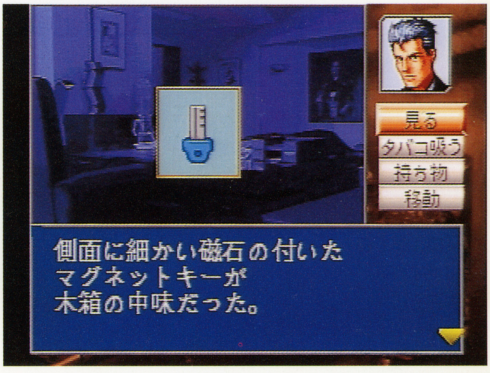
社長室

応接室の扉から、社長室に入ってみることにした。ここは丘安仁の部屋だ。品よくまとめられた部屋で、ヤクザの仕事場とは思えない。丘安ほど、裏の顔を巧妙に隠しているヤクザも珍しい。神宮寺は、引き出しの中から、絵画の裏まで、くまなく調べることにした。

引き出しにはカギがかかっていた。

簡単なカギなら、針金で十分だ。なかの書類はOWIに関する物で、不正とは一切関係なかった

また、この針金が役に立ちそうだ。しかし引き出しからは、文房具一式、正規の書類など、めぼしい物はなかった。次に、オブジェを調べてみた。なかに何か入っている！　中からはマグネットキーが見つかった。一体どこのカギなのだろう……。



厳重に隠してあった磁石がついたマグネットキー。絶対に何かある

給湯室

お茶やコーヒーを入れる給湯室だ。コーヒーの買い置きやガスコンロがある程度で、特に変わった点は見当たらない。どこの会社にでもある、ごくふつうの給湯室だ。神宮寺は、ヤクザがお茶をくむところを想像して、思わず苦笑してしまった。

暗くてよく見えないが、床はホコリだらけで、だいぶ汚れている。人がいる可能性がある以上、やたらと明かりはつけない方が安全だ。

棚はもちろん、念のためタンクの下までさがしたが、めぼしいものは何もなかった。あとは、事務所を残すのみとなった。

ごくふつうの給湯室。実は意外な秘密が隠されているが、それが明らかになるのは、もうしばらくしてから

事務所

社長室や応接室とはことなり、事務所はまさにヤクザの部屋だった。エアコンがつけっぱなしになっている。すぐに人が戻ってくるかもしれない。

神宮寺は、すばやく作業にかかった。机の上には下品な雑誌や、ノミ行為に使われると思われる住所録などが雑然と置いてある。神宮寺は怪しいと思われる場所はすべて探したが、一連の事件の証拠になるような品は見つからなかった。

そして、机の中を調べようとしたそのとき、ドカドカという足音が聞こえてきた。組員が帰ってきたのだ。

テレビやエアコンがつけっぱなしだ。ついさっきまで、人がいたのだろう。今まで気づかれなかったのは幸運だ

盗み聞きも探偵の仕事

神宮寺はとっさに身を隠し、男たちの会話を盗み聞きすることにした。男たちの話によると、池上は帳簿を盗み、前原に殺されたらしい。何が書いてあるのかはわからないが、その帳簿が丘安組を壊滅させる決定打になる可能性は高い。それを収めてある金庫のカギは丘安仁が持っているらしい。あの、マグネットキーが使えるかもしれない。男たちはさらに続けた。「金庫を見るのはブツをさばくときか、茶をくむときだけだ」と。お茶をくむ場所といえば、給湯室しかない。神宮寺はもう一度、給湯室を調べてみることにした。

身を隠すと、「聞く」というコマンドが出現する

池上の仇は、前原だった。ブン屋とは記者のことだ

「金庫を見るときは茶をくむとき」

神宮寺はもう一度、給湯室をたんねんに調べてみた。床をよく見ると、食器棚から何かを引きずったあとがある。食器棚を奥まで見てみると、確かに隠し金庫があった。社長室で見つけたカギはピッタリとおさまったが、金庫は開かない。さらにパスワードを入力しなければならないのだ。パスワードは、アルファベットで3文字。誰にも知られてはいけない、秘密のパスワードだ。どこか人目につかないところに、覚え書きしているかもしれない。

ロックがはずれる音がした。パスワードがあっていたのだ。例の帳簿には、丘安組の密入国ルートと、次の取り引きの日時が記されていた。次の取り引きは11月18日、場所は晴海埠頭だ。神宮寺は必要な部分をすばやく手帳に書きとめると、帳簿をもとに戻した。

カギ一個で機密がもれるほど、丘安組はマヌケではない。今まで調べた部屋に手がかりがある！

帳簿を持ち出せば丘安は警戒して、次の取り引きの日時を変更してしまうだろう。帳簿は戻しておいた方がいい

与野にかけられた容疑

五島正一郎殺人事件

神宮寺は、丘安組潜入で得た情報を熊野にタレこんだ。外国人を密入国させて金をとり、健康診断でドナーを探し、さらに金持ちの患者に売る。手術は谷川が執刀するというカラクリだ。そして臓器を取り出した後の死体の始末は、池上を殺した前原だ。手帳を読んだ熊野は、11月18日に向けて、準備をすると約束してくれた。

熊野は、神宮寺の無茶にうすうす気がついているようだ

神宮寺に五島の死を告げる熊野。だが熊野も、与野が犯人だとは信じていない

捜査に光が見えはじめたそのとき、衝撃的なニュースが神宮寺を襲った。五島正一郎が殺されたのだ。しかも、その容疑者は与野だというのだ！　五島の死体の近くに、与野が倒れていたらしい。そのうえ、部屋からは与野の指紋が見つかったという。しかし、神宮寺には、どうしても信じられなかった。与野は人殺しができるような男ではない。神宮寺は与野に会って話を聞くため、留置所に向かった。

記憶喪失の与野

神宮寺は、留置所の与野に事情を聞いてみた。その日の午前１時、与野は五島と証拠物件の取り引きをするため、事務所をたずねた。ドアを開けると、そこに五島が立っていて、いきなり襲ってきたという。与野はすぐに気絶してしまい、それ以後の記憶がない。五島を殺したのは自分なのか、それとも殺されていたのか与野自身にもわからなかった。ただ、襲ってきたのは確かに五島本人だったという。発見されたとき、与野は五島の死体のそばに倒れていたという。与野の体に外傷はなかったが、両方のこめかみに四角いヤケドのあとがあった。

熊野は病院に警官を配置し、身動きのとれない与野に家族の安全を保証してくれた

三好の助言

神宮寺は、与野の記憶が人為的に消された可能性を考えていた。そのスジに詳しい人間、鑑識の三好なら何かわかるかもしれない。三好はそれは可能だと答えた。なかでも一番ポピュラーな方法は、電気ショックを使うことだ。原理は頭に電流を通して適度なショックを与え、記憶を消し去るという簡単なもの。機械をセットする場所は、こめかみが効果的だという。ただし、ヘタをすれば命にかかわる方法なので、家にあるような機材ではできない。この方法は医療にも利用されているので、病院にある機材なら大丈夫らしい。

病院にあるもの……神宮寺は何か、確信めいたものを抱かずにはいられなかった。

電気ショックを与える機材は、大きな病院のほとんどが持っているらしい。三好の助言は大いに役立った

事務所は無事だが……

事務所に戻った神宮寺を迎えたのは、洋子と昨日撃たれたばかりの今泉だった。神宮寺は今泉の屈強さにおどろく反面、そのたのもしさがうれしかった。弾丸がうまく貫通したので、軽傷ですんだという。

そして、洋子はひとりゴキゲンななめだった。洋子は今泉を気づかって、ボディガードを断った。が、今泉は引かない。それで、洋子は怒っているのだ。

神宮寺は丘安組に潜入したことと、与野が五島殺しの容疑で逮捕されたことを伝えた。11月18日の一斉検挙までに、与野の無実を証明したい。神宮寺は推理の材料を求め、現場である五島事務所に行ってみることにした。

今泉は情報がもれるのを恐れ、一斉検挙の件は、豪造には秘密にすると約束してくれた

現場検証

神宮寺は、五島は口封じのために殺されたのではないか、と考えていた。五島が死んで助かる人間、それは谷川と丘安だ。

また以前、五島は車イスにすわっているという話を聞いたことがある。その五島が、立って与野を襲うとは、あまりにも不自然ではないだろうか？

現場を調べる神宮寺のもとに、熊野がやって来た。新たに判明した事実を知らせにかけつけてくれたのだ。それによると、五島は与野と会う10時間前に、すでに殺されていたという。死因は絞殺。あざやかな殺し方で、警察ではプロのしわざと見ているらしい。また、額には何か図形のようなあとがついていたという。

犯人はなぜ、死んでいる人間を生きているように見せる必要があったのか？　神宮寺の頭が、フル回転を始めた。

五島の事務所前には、報道陣が群がっていた。今度の事件があかるみに出れば、世間はもっと騒ぐだろう

推理の材料が不足しているのではないかと、熊野が心配して来てくれた

神宮寺の推理

神宮寺は熊野に、自分の推理を説明した。まず、額の図形に事件との関わりはない。五島は殺された後、ドアに立てかけられていたのだ。死後硬直を利用すれば可能だ。図形は、そのときについたのだ。そして、与野がドアを引くと死体が倒れて、襲ってくるように見える。だが犯人はなぜ、こんなマネをしたのか？　それは、与野に思い違いの記憶を残すためだ。与野がドアを開け、五島が倒れてきた瞬間、犯人はあらかじめ用意しておいた電気ショックの機材で与野の記憶を消し去った。こめかみのヤケドは、そのときできたものだろう。記憶をすり替えられた与野は、自分が犯人かもしれないと思い違いをする。

手口はあまりにも巧妙で、それが逆に犯人を限定する結果になった。人の心理や死後硬直を利用したトリック、あざやかな絞殺、そして電気ショック機材の使用、これは明らかに医学に詳しい者の犯行だ。

神宮寺の推理にうなる熊野。もしこれが正しければ、犯人はおそらくアイツだ！

看護婦をつかまえろ

神宮寺は東亜総合病院の谷川が、五島殺しの犯人だとにらんでいた。しかし、それを立証するには、事件当日に谷川が電気ショックの機材を持ち出したかどうかを確かめる必要がある。神宮寺は身分をいつわり、看護婦に機材の管理状況をたずねた。

ハデな外見をした看護婦は、しばらく考えこんでいたが、とても重要な証言をしてくれた。

神宮寺は、板垣から機材の管理調査を依頼されたとウソをつき、看護婦から貴重な情報を引き出した

道具を持ち出したのはやはり谷川だった!

看護婦の話では夜、谷川が電気ショックの機材を持ち出すところを目撃した者がいるという。神宮寺は五島の話題で谷川を動揺させ、さらに電気ショック機材の持ち出しを目撃した者がいることを告げた。副院長である谷川を見間違える者など、院内にはいない。谷川に、この窮地を切り抜ける技量などない。谷川は五島殺しの重要参考人として、熊野に連行されていった。

医学的知識を臭わせる五島殺しは、谷川の犯行だった。自分の身を守るため、罪をかさねる結果になってしまった

運命の11月18日

いよいよ、決戦のとき!

板垣と谷川の立ち会いのもと、東亜総合病院の家宅捜索が始まった。谷川は五島殺害の容疑で逮捕され、さらに不正手術の余罪も追求されるだろう。板垣も院長としての責任と不正手術への関連を問われるに違いない。これで、与野の容疑は晴れたのだ。

そして、待ちに待った11月18日がやってきた。大勢の警官が晴海埠頭に配置された。熊野の話では、麻薬捜査課まで出動しているという。

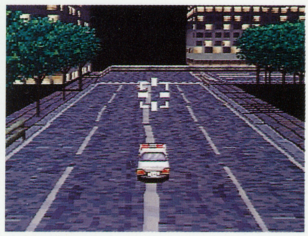
待つこと数時間、熊野の無線が船の到着を告げた！　サーチライトが丘安組の連中を照らし出す。組員の取り押さえは、思いのほかスムーズに進んだ。

これで事件は、とりあえずの解決をみたかのように思えた。

OWIは合法的な輸入品は港の倉庫へ、非合法の物の取り引きはマンツーマンで行なっていた

丘安、最後の悪あがき!?

捜査員たちがホッとしかけたその瞬間、一台の黒いベンツが、タイヤをきしませて飛び出した。なかには、丘安仁が乗っている！　神宮寺と熊野はパトカーに乗りこむと、黒いベンツを追いかけた。



照準が赤くなったら、ファイヤー！　道が曲がりくねっているので、すばやく押す

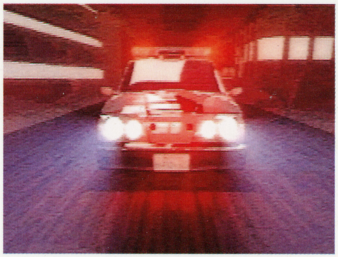
ここで丘安を捕らえることができなければ、この一斉検挙の意味は半減してしまうだろう!!

ベテランの熊野でも、銃を使う機会はあまりなかっただろう。しかし、絶対に命中させなくてはならない！

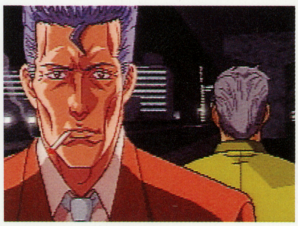
緊迫のカーチェイス!

ベンツは警察の追撃をかわそうと、猛スピードで疾走していた。熊野は車の運転を神宮寺にまかせると、窓から大きく身を乗り出して拳銃をかまえた。タイヤを狙って、車を止める気だ。熊野は照準をさだめ、タイヤめがけてトリガーを引いた！　弾は見事に命中、ハンドルがきかなくなった車は激突、大破した。頭から血を流した丘安が、観念したように車からおりてきた。

「やっぱり、アンタを先に殺っておくべきだったよ」丘安は神宮寺にそう言い捨て、警官に連行されていった。



悪行の限りをつくした丘安仁も、とうとう年貢の納めどきだ。後続のパトカーが、次々と丘安を取り囲む。一斉検挙は、大成功をおさめたのだ



前原は洋子たちだけでなく、神宮寺本人の命も狙っていたらしい

丘安の捨て台詞に、静かに受けとめる神宮寺。ひと握りの人間の欲望が、多くの犠牲者を出したのだ

丘安組崩壊!

上野のOWIビルも家宅捜索を受け、さまざまな証拠品が押収された。しかし殺人の実行犯、前原には逃げられてしまった。丘安組は外国人を密入国させる前に、健康診断と称して、臓器を取り出す人間を選別していた。トーマスが殺されたのは、ベニスで受けた健康診断で彼の臓器が適合してしまったからだった。

不法就労の外国人から臓器を奪えば確かにバレにくいだろう。一回の密輸で麻薬、密入国、臓器売買をしていたのだ

産廃施設の土からは、あらゆる毒物が検出された。補償がいらない密入国者を使えば、三紅も得をする

板垣の罪

丘安を捕らえたその足で、神宮寺は東亜総合病院に向かった。東亜でも、一斉検挙が始まっている。神宮寺はどうしても、板垣に会っておきたかったのだ。

病院関係者はみな不安そうな顔で、警察の行動を見守っていた。なかには、捜査に協力してくれた斎藤の顔もあった。

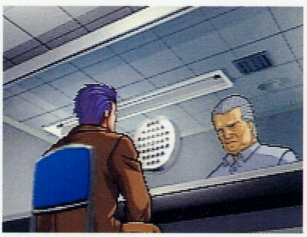
板垣は、こんな状況でも威厳を失っていなかった。逮捕されることがわかっているのだろう。板垣に動揺は見られない。板垣は、臓器移植で人の命を救い、そのウラで人が殺される矛盾に、乾いた笑いをもらした。そして、神宮寺にひとこと「ありがとう」と残し、連行されていった。

板垣は板垣のやり方で、罪をつぐなうつもりだ

「板垣は、早く楽になりたかったのかもしれない」熊野は、礼の意味を問う神宮寺にそう答えた

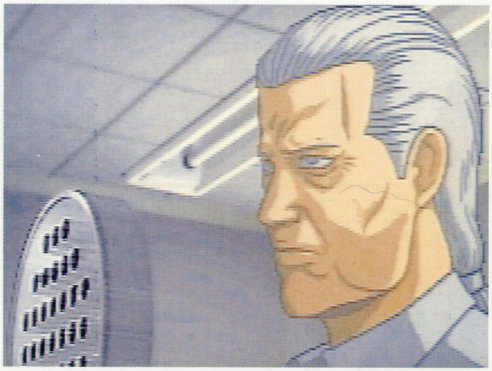
板垣の真意

神宮寺は、どうしても板垣にたずねたいことがあった。三紅の社長、鶴巻俊成と板垣は大学の同期生だった。三紅グループは、は、臓器密売に関与していたのだろうか？



自信と風格に満ちた板垣だったが、今は見る影もない。板垣は一生、重い十字架を背負って生きていく。それが、板垣が自分に課した罰なのだ

板垣は、それを否定した。ただ、鶴巻英樹の命を救いたかっただけだった。鶴巻は、臓器密輸には何の関係もなかった。



板垣はドナーが見つからなかったばかりに、娘を失っている。鶴巻には同じ思いをさせたくなかったのだ

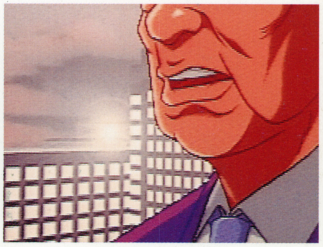
鶴巻俊成の予言

池上のルポを完成させるべく、与野は三紅グループ社長、鶴巻に面会を申し込んだ。

鶴巻は策士だった。産廃施設の外国人のこと、密入国のことすべて丘安仁が画策したことだと言った。ODA問題が、密入国者を増加させ、丘安のビジネスを助けていたことも否定された。

与野の追求は、みな上手くかわされてしまった格好だ。それでも与野は食いさがった。それに対し鶴巻は、ルポ作成妨害をほのめかした。

神宮寺から新しく判明した事実を聞き、与野は原稿執筆にかかっていた



鶴巻は「そういったことには、妨害がつきもの」と、脅迫めいたことを口にする

感動のエンディングは、すぐそこだ！

街はもう、クリスマスカラー一色だった。一連の事件は、とりあえず幕をおろした。しかし、本当は何ひとつ終わってはいないのだ。前原の逃亡、三紅の関与、そして、レムチャでは、今でも重い病気に苦しんでいる人たちがいる。失ったものはあまりにも大きすぎた。

丘安、板垣、鶴巻……それぞれがそれぞれの決着をむかえるなか、神宮寺と与野はどんな答えを見いだすのか？　そして、池上が命をかけてまで書き上げようとした「未完のルポ」は、無事に完成するのか？　感動のエンディングは、キミ自身の目で確かめてほしい！

シナリオチャート

交錯するシナリオをチャート化。これで、ストーリーの流れもバッチリわかる！

神宮寺（ベニス・臨海など聞きこみ）

洋子（津崎直也と会う）

（堂黒会へ聞き込み）

熊野（依頼）

外国人連続殺人事件

神宮寺

津崎が外国人の死体を発見

（新宿中央公園）

アタッシュケース探し

熊野

神宮寺（売人尾行）

グラス捜査

神宮寺

事務所（池上の手紙とカギを入手）

神宮寺（バー）

坂井公二探し

洋子

（地下道）

（工場の事件を解決）

池上の死

（村の悲劇を知る）

ムルソンにて…

与野

銃撃される

洋子

熊野（司大学付属病院）

神宮寺（ＯＷービル潜入）

逮捕（五島事務所）

神宮寺（東亜総合病院）

自宅が火事

与野

神宮寺（晴海ふ頭）

谷川逮捕

丘安逮捕

板垣逮捕

今倉の死

神宮寺（カルテさがし）

神宮寺（国立臓器移植研究所）

与野（東亜総合病院）

神宮寺（ヤンの強制送還）

与野（ロッカー調査）

神宮寺

産廃工場の実態を知る

神宮寺・熊野（上田逮捕）

神宮寺（丘安組）

出会う

与野（創文社→丘安組）

（フロッピー入手）

未完のルポ

COLUMN

女性探偵もがんばってるぞ!

大活躍の女性探偵たち

■おばあさんから娘まで

探偵は何も、男性だけの職業ではない。男顔負けの観察力、推理力で、難解な事件を解決する女性探偵も少なくないのだ。

まずは、NHKの海外連続ドラマでも大人気を博したミス・マープルを紹介しよう。生みの親は、エルキュール・ポワロを世に送り出したミステリの女王、アガサ・クリスティだ。

ミス・マープルはセント・メアリ・ミード村に住む、ごくふつうのおばあさん。おしゃべりでせん索好きの明るいおばあさんだが、抜群の観察力で事件を次々と解決する名探偵だ。ミス・マープルの強味は、その立場にある。隠居した、どこにでもいるようなおばあさんなら、誰にも怪しまれずに行動できる。どこへでも入りこんで村のウワサ話を聞き、推理の材料にしてしまう。ミス・マープルものの代表作は『ミス・マープル最初の事件』『ミス・マープルは語る』など。女流作家が描くせいなのか、主人公が老女のせいなのか、血腥い描写があまりないのも特徴だ。同じ人間観察を得意とするタイプでは、ブラウン神父や修道士カドフェルらがいる。

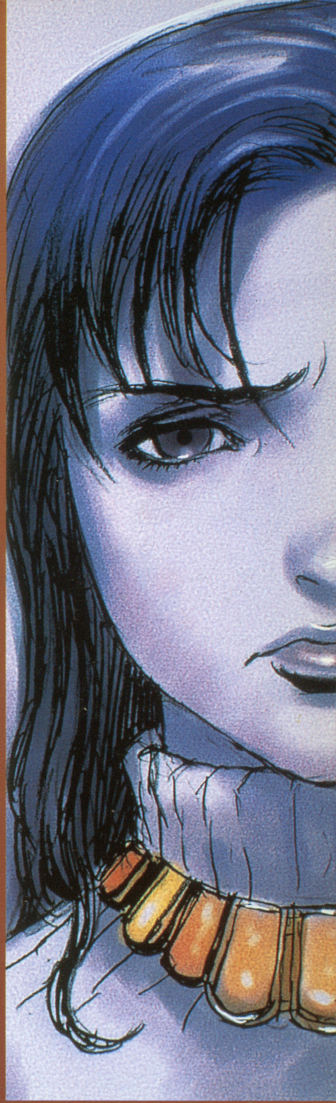
なんと、日本にもおばあちゃん探偵はいるのだ。『やっとかめ探偵団』シリーズの主人公、波川まつ尾がそれ。名古屋にある駄菓子屋のおばあさんだ。その頭の良さと暖かい人柄で、近所の人気者でもある。警察の鷲谷警部補も、まつ尾を慕っていて、よく難解な事件を持ちこんでは、助言を得ている。

また、「探偵団」というからには、活躍するのはまつ尾だけではない。ヒマをもてあましたお年寄りたちも、まつ尾の手足となって動き、事件解決に貢献するのだ。著者は清水義範、『やっとかめ探偵団』シリーズは『やっとかめ探偵団と殺人魔』『やっとかめ探偵団危うし』などがある。　次は、タロット日美子こと二階堂日美子を紹介しよう。タロットカードを得意とする彼女だが、本業は専業主婦。夫は、鎌倉署に勤務する警部で、日美子が事件に巻き込まれることもしばしば。夫の名は二階堂警部(さとる)というからオモシロい。

全編をつらぬくユーモラスで、トボけた味わいが人気を呼び、いまでは長編50作を越える大ヒットを記録している。著者は江戸川乱歩賞受賞者の斎藤栄。『タロット日美子』シリーズでは『花嫁川柳殺人事件』や『愛知県の秘密』などが有名だ。

最後に紹介する俥屋おりんは女学生、しかも家業の人力車屋を手伝う異色の探偵だ。舞台は明治30年代。田宮りんは、フェリス英和女学校に通いながら人力車をひく、元気な女の子だ。当然、いろいろなお客を乗せるので、そこから事件に巻き込まれることも多い。

著者は、明るく魅力的なヒロインを描くことで有名な山崎洋子。『俥屋おりん』シリーズで『俥屋おりん事件帳』が有名。シリーズは、おりんが高校を卒業し、イギリス留学するところで終了しているが、復活をのぞむ声も大きい。



謎の事件簿

神宮寺と洋子から出題される推理クイズ、それが謎の事件簿だ！　洋子編は初心者向け、神宮寺はちょっと難解で上級者向けだ。画面のなかに重要な手がかりがかくされているので、目を皿にして見よう。観察力、推理力をフル動員して謎に挑め！

謎の事件簿
洋子編

洋子からの出題は、とあるロッジでおきた殺人事件。不可能を可能にする密室トリックのカラクリを、キミはあばくことができるか!?

殺人事件発生!

事件は、ある山深いところにあるロッジで発生した。ロッジの泊まり客が殺されたのだ！　死体発見は、犯行が行なわれた翌日。発見者は管理人だ。モーニングコールのために各部屋を回っていたときに見つけたという。

管理人室には、３台の防犯用カメラが設置してあり、死角はまったくない。管理人のアリバイは完璧で、容疑者から除外する。

また、部屋は３つあり、管理人室の前を通らなければ、出入り口から殺人現場に行くことはできない。管理人の証言では、誰も通ってないという。つまり、内部の者の犯行ということだ。容疑者は、他のふたりの泊まり客にしぼられた……。

完全な密室!?

被害者は、包丁で刺されて死んでいた。部屋にはカギがかかっていたにもかかわらず、そのカギは被害者の手のひらの上においてあった。

この部屋のドアを開けるカギはふたつ。管理人が持っているスペアキーと、被害者の手の上にあったマスターキーだけだ。つまり、この事件は「密室殺人」なのだ。犯人は、どうやって入れるはずのない部屋に侵入し、殺人を犯したのか？　まずは現場を検証してから考えよう。

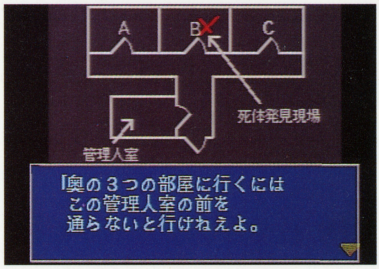
犯罪捜査のセオリーは「第一発見者を疑え」。しかし、管理人のことは信用してもよさそうだ

現場検証

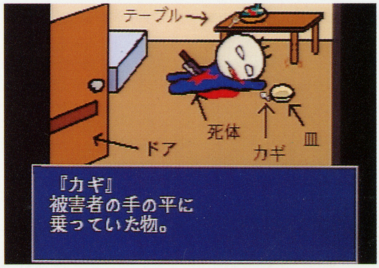
現場はまさに血の海だ。被害者は、体に深々と包丁を食い込ませて死んでいた。ほぼ即死だ。

カギは被害者の手のひらの上にのっている。ヤケドのあとがあるのが気になる。皿はなぜか床に置かれ、ろうそくが溶けた跡があった。ろうそくは、他のふたつの部屋にも置いてある。テーブルには、何かでこすったような細かいキズがついていた。また、死体のそばで、ごく少量ではあるが何かの燃えカスが発見された。ドアはポストがついた普通のもの。しかし、ポストがついているということは、部屋は完璧な密室ではなかったということになる……。

現場に残されたこれらの手がかりは、一体何を意味するのだろうか!?



ロッジの見取り図。正面の入り口の他に非常口はない



例の燃えカスは、何が燃えたのだろう？　その量は大きなヒントだ

容疑者の持ち物から推理しよう!

容疑者はAとBのふたり。現場検証で得た手がかりから、ズバリ犯人とトリックに使われた道具を当ててほしい。容疑者の所持品は、どれも密室トリックに使えそうなものばかりだ。

何をどうすればテーブルに細かなキズがついたり、被害者がヤケドしたりするのだろうか……!?　結果から原因を推理すれば、答えはおのずとわかるはず。論理だった推理から離れて、直感で選ぶのもひとつの方法だろう。

容疑者たちの持ち物。現場に残された痕跡を残すことができる道具は……？

しゃべるたび、頭のアンテナ（？）がピコピコ動いてカワイイ洋子

ワンポイント◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

密室殺人のトリックには、大きく分けてふたつの種類がある。機械トリックと心理トリックだ。前者はこの洋子編と同じく道具を使用し、その力学的作用で行うもの。後者は相手を惑わし、密室であるという錯覚をおこさせるものだ。

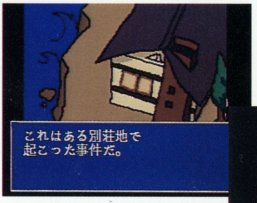
謎の事件簿
神宮寺編

洋子編よりもハイレベルな神宮寺編。
犯人をカンで当てても、推理過程を説明できなければ正解にはならない！
ジックリ考えてからボタンを押そう。

有名女優が殺された!!

これは、ある高級別荘地で発生した殺人事件だ。

被害者は大物女優の岩上しおり。岩上は、自分の宝石や衣裳を人に自慢するのが生きがいだったらしい。その日も岩上は、自分の別荘に友人を集めて宝石を自慢していた。死体発見はその翌日、別荘から200メートルはなれた岩場で見つかった。岩場は、海面から突き出ていた。



舞台は、海辺の高級別荘。被害者の岩上しおりは、何かと敵が多い人物だったようだ

第２、第３の事件が…!

死体が発見された岩場は、別荘の窓から見ることができる。岩上が殺されたその日は、嵐が近づいていて海は荒れていた。岩上が殺されてからも、さらに第２、第３の事件が起こった。

第２の事件は死体発見後、警察に通報しようとした人が、何者かに襲われたこと。

岩上が発見されたのは、海の上に突き出た岩場だった

第２の事件。この足跡は一体何を意味するのか!?

そして、岩上の宝石がいくつか盗まれていた。これが第３の事件だ。

別荘の窓から、例の岩場はよく見える。重要なポイントだ

第３の事件現場。犯人は金目の物が目当てなのか？

容疑者たちの証言

岩上殺害当日、別荘に居合わせた４人が容疑者だ。まずは俳優の京田さとし。岩上のヒモだった男だ。

ふたり目の容疑者は瀬川奈々美。岩上とはライバル関係だった。

３人目は結城さちえ。瀬川の話では、岩上に宝石をだまし取られたことがあるという。

最後は岩上のマネージャー、木下雪子。岩上にイビられ続け、ノイローゼ気味だった。

岩上の死亡推定時刻は午前２時。容疑者たちは、それぞれの部屋にいたのでアリバイは証明できない。ただひとり木下だけが、アリバイがある。その時間に地元警察からの電話を受けているのだ。津波の危険を知らせる電話だったらしい。

京田さとし

金づかいが荒く、評判が悪い京田。岩上からは月500万円ももらっていたらしい

瀬川奈々美

京田の話では、宝石の価値なんかわからない、と言っていたらしい

結城さちえ

死体の発見者であり、第２の事件の被害者である結城。岩上は育ての親だった

木下　雪子

唯一アリバイがある木下。岩上と同室だったということで、容疑者になっている

スバリ！　犯人を当てろ！

死体発見者は結城さちえ。死体を発見してすぐ木下に知らせ、木下が確認に出ている間、警察に通報しようとした。木下が戻ってくるまでの約15分の間に、結城は襲われ、宝石は物色された。宝石は、木下が部屋を空けるまであったという。

神宮寺から与えられたヒントはふたつ。瀬川は本当に、宝石のことは知らないらしい。そして、犯人は必ずこの４人の中にいる。ズバリ、犯人は誰だ!?

この日の嵐は、犯人も予想していなかっただろう

ワンポイント

推理で大切なことは「なぜ、いかにして!?」という疑問だ。この場合、犯人はなぜあんな場所に死体を置いたのだろう。死体を隠したかったのか、発見を遅らせたかったのか、それとも……。これがわかれば、推理は前進する！

スペシャルインタビュー

重厚でリアリティあふれるストーリー展開が魅力の『未完のルポ』。今回はそのストーリーを創りあげた、原作の齋藤竜也氏にお話をうかがった。『未完のルポ』の知られざるウラ話がもりだくさんだ！

ウソは、絶対に書きたくないんです

シナリオ
齋藤竜也

さいとう　たつや

●プロフィール●
『未完のルポ』の原作者。大学在学中からルポライター、放送作家として活躍し、今回初のゲームシナリオを手がける。現在『神宮寺三郎』の原作本を執筆中（ケイエスエスより出版予定）。

――『未完のルポ』のシナリオを担当されることになった経緯を教えてください。

齋藤：昔、ファミコンのディスクシステムで『神宮寺』をプレイして、大ファンになったんです。でも、ファミコン版を最後に、ずっと新作が出ていなかった。それで、じゃあ自分で書いてみよう、と思ったのがキッカケですね。自分で『神宮寺』の世界を作りたかったんです。それで、いろいろ考えて原稿を書きあげ（データイーストに）持ち込んだんです。

――『神宮寺』シリーズのどの辺りがお好きだったんですか？

齋藤：初めて『神宮寺』をプレイしたのは、中学生のときだったと思います。その年代って、不良やハードボイルドにあこがれる時期ですよね。そんな時期に『神宮寺』に出会って「カッコイイ！」って思ったんですね。もう時効なのでバラしてしまいますが、中学生のころ、父の煙草に火をつけて「ん」なんて言ってみたりしたこともありました（笑）。

「リアル」へのこだわり

――ファンタジーや未来世界が舞台のゲームが多いなか、社会問題をテーマにしたのはなぜですか？

齋藤：『神宮寺』ファンの年代の方なら、きっと興味を持ってもらえる題材だと思っ

たからです。僕自身も、すごく興味があるんです。それに、ただ遊ぶだけのゲームでは、物足りないですよね。プレイしてくれた人に何かを考えさせることができれば、それは本物だと思います。

――ゲームは、現実から逃げるだけの空間ではないと？

齋藤：そうですね。逃げる空間も大切ですが、逃げてばかりじゃダメですよね。ゲームをしながら、実感できる何かがほしい。だからゲームをプレイしながら、視野を広げられたら最高だと思います。

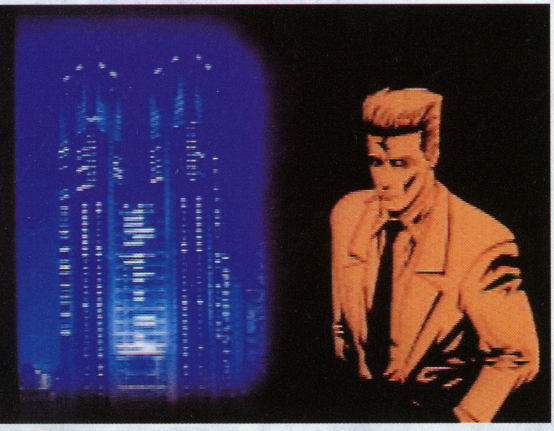
――社会問題をとりあげているだけに、とてもリアルですよね。

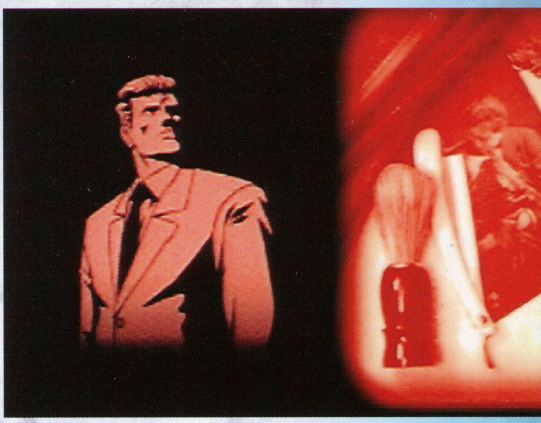
齋藤：ゲーム本編に大麻密売のエピソードがありますが、あれは僕でも簡単に買えてしまうんですよ。僕は実際、大麻密売の取材をしたことがあるんです。もちろん買いませんでしたが。ですから、社会問題というより、身近な問題をテーマにしたというのが本当のところですね。

与野＝齋藤氏説浮上!?

――『未完のルポ』で、特にお気に入りのキャラクターは誰ですか？

齋藤：みなさん与野だろうと思ってらっしゃるかもしれませんが、実は津崎直也なんです。死体の第一発見者で、愛犬家の男性





です。僕はキャラクターの名前を考えるのが苦手で、けっこう知人の名前を借りているんですよ(笑)。津崎さんは、シナリオをデータイーストに持っていくとき、いろいろ相談に乗ってくださった方なんです。

――どうりで、キャラクターの名前もリアルだと思いました。

齋藤：国立臓器移植研究所の、今倉っていましたよね。あれは、放送作家のエラい方のお名前をいただいたんです。僕の大先輩なんですが「殺したれ！」って（笑）。あとベニスのマスター、佐々木は僕がよく行く本屋の店長さんがモデルなんですよ。他にも臨海で働いている中村和之や、新宿地下道の前田明宏にも、ちゃんとモデルがいるんです。前田さんはゲーム中の前田と同じくらいの巨漢なんですよ。

――そういえば、齋藤さんは与野に似ていらっしゃいますね。

齋藤：データイーストのグラフィックの方が「与野って、やっぱ齋藤さんだよね」とおっしゃって、僕をモデルにラフを描いたんです。そして、キャラクターデザインの寺田克也さんにお願いしたら妙に似ちゃったんですね。だから、似ているのは仕方がないんです(笑)。でもうれしい反面、ちょっと恥ずかしいんですよ。こんなにカッコよくないぞ～、と思いました（笑）。

――シナリオでも、与野は齋藤さんの分身なんですか？

齋藤：そうですね。登場人物はみんな何かしら、僕の言いたいことを代弁しています。でも与野はちょっと特別ですね。与野を自分の分身として、大好きな神宮寺の横に配したんです。

悪の華・前原貴史

――シナリオで、お気に入りのエピソードはありますか？

齋藤：臨海で働いている中村和之に会うところから、ヤンと話をするまでのエピソードが好きですね。実は僕の後輩の家が、朝日興業のような町工場なんです。ヤンは、そこで働いていた外国人がモデルです。その外国人が強制送還されるとき、見送りに行ったという思い出がありますから、よけい思い入れが深いですね。このエピソードは、すべて実話です。つらい話だけど、一番好きですね。

――実話と聞くと、プレイヤーが感じるリアリティも違ってきますね。

齋藤：ウソは書きたくないんです。虚構の世界でも、ある程度のリアリティは追求していかないとダメだと思います。朝日興業での事件は、僕が学生時代に取材して文章にしたものなんです。いつか手直しして世に出そうと思っていたんですが、今回こうしてゲームに組み込むことができました。

――シナリオ作成時にボツになった裏設定はありますか？

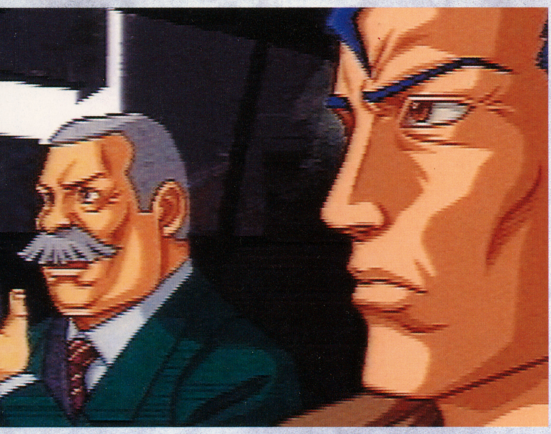
齋藤：実は前原は帰国子女だった、っていう設定がありました。海外で生活していたころ、神宮寺財閥にひどい目にあわされたことを恨んでいるんです。そんな設定があったんですが、見事ボツになりました。

――ゲームでは前原はとても凶暴な男ですが、最初は神宮寺に対する個人的な恨みで悪いことをしている、という設定だったんですか？

齋藤：いえ、前原はやっぱり悪いヤツなんです。何の良心の呵責もなく人を殺せる人間、そんなダークヒーローを描きたかったんです。前原がやることって本当にひどいんですが、それでもすごく徹底している。ストレスを残さないんです。悪く言えば「イッちゃった」キャラクターですね。人間の負の部分を、すべて前原に託して悪いことをさせてみたかった。法の側のヒーローが神宮寺や与野だとしたら、前原はカオス側のヒーローなんでしょうね。ですから、前原も好きなキャラクターのひとりです。前原のエピソードも、どこかで出せたらと思っています。

――ゲーム開発時に、何か苦労した点はありましたか？

齋藤：ゲーム中の風景は実写撮り込みなん



ですが、僕も撮影にずっと付き添っていたんです。やはり、自分が思った通りの絵がほしいですから。海外にも撮影に行ったんですが、それが非常にツラかったですね。朝4時に起きて、車に乗り込んで4時間、撮影、帰ってまた撮影、という生活でした。おもしろかったのは、東南アジアでの撮影でしたね。僕とデータイーストのグラフィッカーの方で、夕暮れを待って撮影に入ったんです。そうしたら、グラフィッカーの方がホモに口説かれた(笑)。助け船を出そうと思って「仕事で来ているから」と言ったら「邪魔するな！」と怒られてしまいました。口説かれた本人は、相手がホモだと気づいていらっしゃらなかったみたいです(笑)。

オススメの探偵はこの人！

――『未完のルポ』をプレイするユーザーのみなさんに、特にどの辺りを見てほしいですか？

齋藤：『未完のルポ』の内容はどうしても外国人よりで、企業に対して否定的ですよね。でも、こちらが与えた情報を鵜呑みにせず、疑問を持ってほしいですね。ゲームをプレイして「こういうこともあるんだ」と思いつつ、「でも、この原作者の考え方はどうだろう」というところまでツッコんでもらえれば、大成功だと思っています。

――今回、探偵モノのシナリオを手がけられたわけですが、お好きな探偵やミステリ小説がありましたら、教えてください。

齋藤：キース・ピータースンの作品が好きです。日本では東野圭吾氏の作品がおもしろいですよ。『浪速少年探偵団』シリーズや『パラレルワールド・ラブストーリー』など、この方の作品にはハズレがありません。僕は基本的にハッピーエンドが好きなんですが、吉村達也氏の作品はデッドエンドでもOKです。栗本薫氏の『ぼくら』シリーズや『伊集院大介』シリーズも好きですね。

――探偵の方はいかがですか？

齋藤：探偵というと、シャーロック・ホームズのようなイメージを抱きがちですが、『神宮寺』シリーズのファンが求めている探偵は、また違うと思います。『神宮寺』がお好きな方には、大沢在昌氏の『新宿鮫』シリーズや、大藪春彦氏の『ハイウェイ・ハンター・シリーズ』がハードでオススメです。特に『新宿鮫』シリーズは、ベストセラーにもなった作品ですから、絶対におもしろいですよ。

――最後に『未完のルポ』をプレイするユーザーの方にひと言お願いします。

齋藤：心の底からお礼を言いたいですね。楽しくプレイしてください。そして、何か物を考えるキッカケになれば幸いです。

編集・構成／合田夏子（STUDIO HARD MX）
本文／合田夏子
本文デザイン／YUMEX
カバーデザイン／小山力也（ケンコングラフィック）
協力／データイースト株式会社

担当編集／鈴木俊之

この本に掲載された文章、写真、イラスト等についての責任は全て小社にあります。

©1996 DATA EAST CORP.

ゲーム必勝法スペシャル

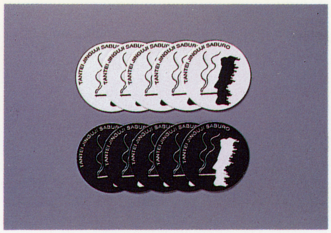
探偵　神宮寺三郎〜未完のルポ〜

発　行　人　加納　将光
編　集　人　吉田　陽一
発　行　所　株式会社　勁文社
〒164 東京都中野区本町３丁目32番15号
☎03-3372-3281（編集）・03-3372-3291（営業）振込 0019-8-13311番
写植・版下　株式会社　トーヨーフォトタイプ社
印　刷　所　株式会社　ノア
製　本　所　明興製本工業株式会社

落丁、乱丁本は、当社にておとりかえいたします。
発行日、定価は、カバーに表示してあります。
©1996 Keibunsha Printed in Japan
ISBN4-7669-2641-2 C0076

探偵 神宮寺三郎 未完のルポ 応募券

読者プレゼント



コースターは2種類1組。バーボンを注いだグラスを片手に物思いにふけるあなたの姿は、まさしく神宮寺！

データイースト特製の神宮寺手帳。これを使いこなすことができれば、あなたも一流の探偵屋の仲間入り

ここで素敵なプレゼントのお知らせです。このページのハガキを切り取るか、ページ右上の応募券を八ガキに貼って、勁文社「探偵神宮寺三郎　未完のルポ」係までお送り下さい。抽選で5名の方にデータイースト特製のコースター、同じく5名の方に特製手帳を差し上げます。ハガキには必ずこの本を読んだ感想を書いて下さいね。締め切りは97年1月末日。なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

郵便はがき

50円切手をはってください

164

東京都中野区
本町3丁目32番15号
株式会社　勁文社

探偵　神宮寺三郎
未完のルポ係

氏名		年齢	歳
性別	男・女	職業	
住所			

この本をどこのお店で買いましたか？

区・市・町・村　　書店

愛読者アンケート

当てはまる番号に○をつけてください。

Aどちらのプレゼントをご希望ですか？
1.特製コースター　2.特製手帳

Bお持ちのゲーム機はどれですか？
1.ファミコン　2.スーパーファミコン
3.プレイステーション　4.セガサターン
5.NINTENDO64　6.ゲームボーイ
7.その他（　　）

C最近、もっとも面白かったゲームのタイトルは何ですか？
（　　）

Dどんな種類のゲームが好きですか？
1.アクション　2.RPG　3.シミュレーション
4.シューティング　5.その他（　　）

Eどんなテレビ番組が好きですか？
1.ニュース（　　）　2.ドラマ（　　）
3.バラエティ（　　）　4.その他（　　）

Fどんなスポーツが好きですか？
1.野球　2.サッカー　3.バスケットボール　4.テニス
5.その他（　　）

Gこの本を読んだご感想をお書きください。

（　　）

ご協力ありがとうございました。